

平成 24 年度 公立大学協会

—事業報告書—

平成 25 年 5 月 23 日

一般社団法人公立大学協会

目 次

1	平成 24 年度 一般社団法人公立大学協会 事業計画	1
2	諸会議開催経過	
[1]	総会、学長会議、事務局長等連絡協議会等 (計 4 回)	3
[2]	理事会、理事懇談会 (計 5 回)	5
[3]	地区協議会 (6 地区 計 6 回)	8
[4]	部会活動 (13 部会)	12
[5]	運営会議 (計 8 回)	19
[6]	その他の協議会等 (計 3 回)	21
3	理事会・運営会議総括事項	
[1]	関連団体の会議等への出席	23
[2]	公立大学協会に対する要望書の受理	23
4	特別委員会	
[1]	公立大学の質保証に関する特別委員会開催経過 (計 6 回)	24
[2]	高等教育改革フォーラム (計 4 回)	25
5	第 1 委員会	
[1]	開催経過 (計 5 回)	28
[2]	会議への出席、関係団体への対応	29
6	第 2 委員会	
[1]	開催経過 (計 5 回)	30
[2]	会議への出席、関係団体への対応	31
[3]	主催事業等 (ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、入学者選抜実務担当者協議会)	31
[4]	入試関連発出文書等	33
7	第 3 委員会	
[1]	開催経過 (計 5 回)	34
[2]	会議への出席、関係団体への対応	35
[3]	説明会 (実態調査表の作成、改正労働契約法、大学 IR コンソーシアム参加)	35
8	セミナー等	
[1]	協会主催セミナー (公立大学職員セミナー、公立大学法人会計セミナー)	37
[2]	セミナー等への講師派遣	39
9	各種調査・照会・報告書等	
[1]	公立大学実態調査・公立大学便覧	40
[2]	協会から発出した照会	42
[3]	メーリングリストによる照会	45
[4]	報告書	46
10	各種情報提供・広報等	
[1]	情報提供 (公立大学 2012)	47
[2]	広報 (ホームページでの情報発信、ニューズレター)	47

1 1	意見・要望等	
	(1) (平成 24 年 6 月 4 日)「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(審議のまとめ)に対する意見	50
	(2) (平成 24 年 6 月 29 日)中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議まとめ」に関する意見	58
	(3) (平成 24 年 8 月 29 日)公立大学に関する地方交付税措置についての要望	60
	(4) (平成 24 年 8 月 29 日)「大学改革実行プラン」に関する要望	62
	(5) (平成 24 年 8 月 29 日)大学分科会の構成員に関する要望	64
	(6) (平成 24 年 8 月 31 日)公立大学に関する地方交付税措置についての要望	65
	(7) 文部科学省への公立大学 COC 事例についての説明 (平成 24 年 9 月 24 日)常盤豊審議官・池田貴城大学振興課長 (平成 24 年 10 月 2 日)大学改革推進室 松坂浩史室長・神宮孝治課長補佐	
	(8) (平成 24 年 9 月 24 日)第 2 期教育振興基本計画に関するヒアリング 発表者：奥野 武俊 会長	67
	(9) (平成 24 年 10 月 24 日)設置基準への意見(全国公立医科・歯科大学長会)	69
	(10) (平成 24 年 11 月 28 日)公立大学の設置プロセスと質保証の課題について(コメント)	70
1 2	名簿等	
	(1) 公立大学一覧	73
	(2) 組織図	74
	(3) 役員名簿	75
	(4) 委員会・作業部会	75
	(5) 部会構成大学一覧	77
1 3	政府審議会等への参画	79
1 4	平成 24 年度 財務諸表	81

1 平成 24 年度 一般社団法人公立大学協会 事業計画

I 基本方針

公立大学のプレゼンスの向上

- －復興を支える人材を育てる－
- －地域社会との連携を強める－
- －持続可能な社会を創る－

II 重点課題

1 重要課題に対する迅速な対応

- 速度を増す高等教育改革の中での公立大学のプレゼンス向上（第 1 委員会）
- 教育の質的転換推進方策に関する調査・検討（第 2 委員会）
- 大学のガバナンスの確立に関する検討（第 3 委員会）
- 認証評価に関する調査・検討（公立大学の質保証に関する特別委員会）
- 震災復興への対応及び各公立大学の取組みの情報発信（運営会議）

2 持続可能な社会に向けての高等教育の在り方（第 1 委員会）

- 高等教育の在り方に関する公立大学からの提言及び情報発信の推進
- 地方独立行政法人法の課題整理と要望活動

3 公立大学の教育・研究・地域貢献活動の推進（第 2 委員会）

- 公立大学の教育・研究・地域貢献活動のあり方に関する検討
- 就職問題への対応
- 入学者選抜に関する対応
- 教育・研究の国際化の課題への対応

4 大学マネジメントの課題（第 3 委員会）

- 教育情報公表の推進（公立大学に関するデータベースの作成と公表）
- 人事制度に関する調査等
- 大学の危機管理に関する調査等

5 組織の充実

- 情報発信型の事業運営
- 事務局体制の強化

6 分野・領域別の課題

- 医学部・附属病院の課題（第 1 委員会）
 - 看護・医療、福祉分野の課題（第 2 委員会）
 - 芸術系分野の課題（第 3 委員会）
- 分野別・領域別課題の取扱いについては、平成 24 年度中に再検討する。

III 事業の実施

1 諸会議・協議会

- 定時総会を 5 月に開催するほか、必要に応じ臨時総会を開催する。
- 理事会を年 4 回（4 月、7 月、10 月、2 月）開催するほか、必要に応じ臨時に理事会を開催する。
- 会務の企画立案、及び緊急の案件を執行するため運営会議を随時開催する。

- 学長会議、事務局長等連絡協議会を開催するほか、必要な課題に応じた協議会を適宜開催する。
- 2 委員会活動
- 平成 24 年度に設置する常置委員会を第 1 委員会、第 2 委員会、第 3 委員会の 3 委員会とし、重点目標に掲げられた事項について調査・検討を行うと共に、必要な事業を実施する。
 - 常置委員会は、委員以外の学長が参加できる拡大会議を学長会議等の機会に開催する。
 - 公立大学の認証評価に関する調査・検討を行うために、「公立大学の質保証に関する特別委員会」を設置する。
- 3 地区協議会
- 各地区において地区協議会を開催する。
 - 各地区協議会において必要な事業を行う。
- 4 部会活動
- 各部会において部会会議等の開催を行う。
- 5 調査活動
- 公立大学実態調査を、調査項目を精査して実施する。
 - 学校基本調査に関する情報を収集し、実態調査を補完する基礎資料とする。
 - 調査活動によって得られた情報は、会員大学へ提供すると同時に、教育情報の公表推進の立場から項目を選び公表する。
- 6 広報活動
- ホームページの更新充実をはかり、公立大学及び本協会に関する情報提供を行う。
 - 公立大学の強み・特色を明確に示すために「公立大学 2012」を作成し、印刷媒体及び Web にて公開する。
 - 協会活動を伝えるニュースレターを随時発行する。
- 7 教職員の能力開発
- 第 3 委員会の計画のもと、公立大学職員の能力開発及び公立大学法人の経営に関するセミナー等を開催する。
- 8 大学改革支援
- 教育の質的転換の推進に関する優れた取組みについての普及活動を展開するほか、関係のコンソーシアム等があれば公立大学の積極的な参加を促す。
- 9 国際交流活動
- 国際交流活動として、JACUIE（国公立大学団体国際交流担当委員長協議会）、UMAP（University Mobility in Asia and the Pacific；アジア太平洋大学交流機構）国内委員会活動に参加する。

2 諸会議開催経過

[1] 総会等

○平成 24 年度定時総会

日時：平成 24 年 5 月 24 日（火）11：00～17：00

会場：学士会館 東京都千代田区神田錦町 3-28

次第

<午前の部 11：00～12：30 会場：210>

- 1 開会挨拶 一般社団法人公立大学協会 奥野 武俊 会長
- 2 来賓挨拶 文部科学省 板東 久美子 高等教育局長
総務省自治財政局 横山 忠弘 財務調査課長
全国公立大学設置団体協議会 橋下 徹 会長（大阪市長）
（代理 大阪市東京事務所 中喜多 孝之 所長）
- 3 基調講演
「高等教育政策の動向について」
講師：文部科学省 池田 貴城 大学振興課長

<午後の部（分科会） 13：30～15：00>

- 4 分科会（拡大委員会）
 - 第 1 委員会（会場：202）大学教育部会審議まとめに見る教育の質的転換の取組み
 - 第 2 委員会（会場：203）公立大学の国際化戦略を巡って
 - 第 3 委員会（会場：320）自治体の大学政策と学長ガバナンスー地域再生の核としての大学モデルを巡って
- 事務局長等（会場：210）地方自治と公立大学法人制度を巡って

<午後の部（全体会議） 15：20～17：00 会場：210>

- 5 報告事項等
新学長、事務局長等の紹介
- 6 議案審議
 - 第 1 号 新会員入会について
 - 第 2 号 平成 23 年度事業報告及び決算について
 - 第 3 号 平成 24 年度役員を選任について
 - 第 4 号 平成 24 年度事業計画及び収支予算について

（平成 24 年度第 2 回理事会 16：20～16：30）

- 7 情報提供等

○ 情報交換会（17：00～18：30 会場：201）

○平成 24 年度新任学長等懇談会

日時 平成 24 年 5 月 25 日（金）9：30～12：00

場所 学士会館（320 号室）

次第

- 1 開会挨拶 奥野武俊 会長（大阪府立大学長）
- 2 情報提供 「公立大学を取り巻く状況の変化と公立大学協会の活動」
情報提供者：公立大学協会 中田 晃 事務局長
- 3 ディスカッション 「公立大学のガバナンスと運営」
パネリスト：奥野 武俊 会長
木苗 直秀 副会長（静岡県立大学長）
浅田 尚紀 副会長（広島市立大学長）

近藤 倫明 副会長（北九州市立大学長）

（話題例）

- ・設置団体との関係
- ・学内ガバナンス（運営面、教学面）
- ・公立大学協会の活動等

○平成 24 年度学長会議開催日程

日時 11 月 8 日（木）13：30～17：00、9 日（金）9：30～12：00

場所：静岡県立大学

<1 日目 11 月 8 日（木）>

【全体会議】（進行：木苗副会長）

- 1 活動報告（奥野会長）
- 2 報告
 - (1) 大学改革実行プランの展開について
文部科学省 池田貴城 大学振興課長
 - (2) 公立大学の使命と COC
公立はこだて未来大学 田柳恵美子特任教授
 - (3) 公立大学の質保証に関する特別委員会報告（奥野会長）
- 3 ディスカッション

【特別シンポジウム】「被災地支援や地域防災に果たす大学と学生の役割」

- (1) 学生による発表
「被災地支援－支援力と受援力」
「地域防災－日常から非日常へ、地域の安全・安心とは？」
- (2) パネルディスカッション

【情報交換会】17：30～19：30

<2 日目 11 月 9 日（金）>

【分科会】

- 1 共通テーマ：公立大学の COC 機能強化の取組み
 - A 市立・公立大学分科会（司会：近藤副会長）
 - B 都道府県立大学・東日本分科会（司会：木苗副会長）
 - C 府県立大学・西日本分科会（司会：奥野会長）

【全体会議】（進行：奥野会長）

- 2 報告
 - (1) 分科会報告
 - (2) 大学ポートレートの検討状況（認証評価への活用を視野に）（浅田副会長）
 - (3) 公立大学の男女共同参画について（静岡県立大学 犬塚協太 教授）
- 3 協議（公立大学の機能の充実にに関する決議 採択）
- 4 事務連絡

【久能山東照宮 見学】14：00～16：00（希望者のみ）

○公立大学生による関連企画

日時 11 月 8 日（木）11：00～15：00

場所 静岡県立大学（第 3 会議室）

【ワークショップ】学生による被災地支援と地域防災活動

- (1) 地域防災活動内容の発表
- (2) 意見交換

○平成 24 年度公立大学事務局長等連絡協議会

日時 平成 24 年 12 月 6 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 30

会場 東京グランドホテル (3 階・桜の間)

次第

- 1 趣旨説明
- 2 講演 13 : 35 ~ 14 : 45
「高等教育行政及び平成 25 年度高等教育予算主要事項等について」
講 師：文部科学省高等教育局大学振興課 田頭吉一 課長補佐
- 3 協議 15 : 00 ~ 16 : 30
進 行：静岡県立大学 柴田和彦 事務局長
 - (1) 改正労働契約法への対応について
 - (2) 職員育成に関する課題について
 - ・新任職員向けの大学関係用語集の作成について
 - ・国際交流関係職員の研修プログラムについて
 - (3) 協会事業への要望等について
 - ・学生の安否確認システムの共同での構築について
 - ・会費の見直しについて
 - (4) その他
 - ・教員の人事制度について
 - ・停職処分した教員の復職時の対応について
 - ・外部研究費の間接経費について
 - ・留学生寮、学生寮について
 - ・教員の定数管理、採用について

[2] 理事会

○平成 24 年度第 1 回理事会、第 1 回第 1 委員会・第 2 委員会・第 3 委員会合同会議

日時 平成 24 年 4 月 17 日 (火) 14 : 00 ~ 17 : 00

場所 メルパルク東京 (3 階・薔薇)

次 第

- ・文部科学省 行政説明
大学振興課 田頭 吉一 課長補佐 (併) 公立大学専門官
津田 元洋 公立大学係長

【協議議題】※は理事会審議事項につき、協議ののち理事により議決

- 1 平成 23 年度事業報告及び平成 23 年度決算について
 - ・平成 23 年度事業報告
 - ・平成 23 年度公立大学協会決算 (旧会の 11 月末締め決算)
 - ・平成 23 年度一般社団法人公立大学協会決算 (12 月から 3 月迄)
- 2 平成 24 年度事業計画 (案) について
- 3 平成 24 年度収支予算 (案) について
- 4 平成 24 年度の役員等について
- 5 平成 24 年度一般社団法人公立大学協会定時総会 (第 77 回) の開催について
- 6 その他

○平成 24 年度第 2 回理事会

日時 平成 24 年 5 月 24 日 (木)

場所 学士会館

議題

平成 24 年度一般社団法人公立大学協会 役員体制について

○平成 24 年度第 3 回理事会、第 3 回第 1 委員会・第 2 委員会・第 3 委員会合同会議

日時 平成 24 年 7 月 4 日 (水) 13 : 00 ~ 16 : 00

場所 東京グランドホテル (3階・菊)

次第

- 1 合同会議 (理事会及び第1委員会、第2委員会、第3委員会の合同会議)
 - (1) 会長あいさつ (13:00~13:10)
 - (2) 行政説明 (13:10~13:50) 文部科学省 田頭吉一 大学振興課課長補佐
- 2 委員会 (14:00~15:00)
 - ◇第1委員会・第3委員会
 - (1) 大学改革実行プランについて
 - (2) 要望事項について
 - ◇第2委員会
 - (1) 平成26年度実施入試実施要領・実施細目(案)及び平成25年度「学生募集要項」作成にあたっての共通の注意事項について
 - (2) 平成25年度大学入試センター試験における地理歴史、公民及び理科の成績の利用方法について及び秋入学について
 - (3) 平成27年度大学入試センター試験からの理科の出題方法の一部変更について (情報提供)
 - (4) 秋田公立美術大学 (H25開学) の入試方式について (中期日程)
- 3 理事会 (15:10~16:00) (委員との合同会議とする)
 - (1) 会務報告
 - (2) 公立大学にふさわしい認証評価のあり方について
 - (3) 平成24年度地区協議会の開催について
 - (4) その他

○平成24年度第1回理事懇談会、第4回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議
平成24年10月10日(水) 13:00~16:30

場所 メルパルク東京 (3階・薔薇)

次第

- (1) 会長あいさつ (13:00~13:05)
- (2) 行政説明 (13:05~14:00) 文部科学省 池田貴城 大学振興課長
- (3) 会務報告 (14:10~14:30)
 - ・平成24年度地区協議会
 - ・その他
- (4) 平成24年度学長会議について (14:30~16:00)
 - ・特別シンポジウムについて
 - ・COCに関する検討について
 - ・認証評価制度に関する検討について
- (5) その他 (16:00~16:30)
 - ・第2回高等教育改革フォーラムについて (10/11開催)
 - ・平成24年度入学者選抜実務担当者協議会について (10/12開催)
 - ・改正労働契約法説明会について (10/18開催)
 - ・事務局長等連絡協議会について (12/6開催)

○平成24年度第4回理事会、第5回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議

日時 平成25年2月7日(木) 13:00~16:00

場所 メルパルク東京 (3階・牡丹)

次第

- 1 合同会議 (理事会及び第1委員会、第2委員会、第3委員会の合同会議)
 - (1) 会長あいさつ (13:00~13:10)
 - (2) 文部科学省 行政説明 (平成25年度予算案) (13:10~13:50)
池田貴城 大学振興課長
- 2 理事会 (14:00~16:00)

- (1) 会務報告
 - ・全体
 - ・第1委員会
 - ・第2委員会
 - ・第3委員会
- (2) 公立大学の質保証に関する特別委員会の検討状況について
 - ・検討経緯と課題の所在について
 - ・評価ワークショップ（青森公立大学、滋賀県立大学）の結果について
 - ・今後の取組みについて
- (3) その他
 - ・規程等の整備について
 - ・事務局の移転について
 - ・公立大学学生ネットワーク（仮称）の創設について
 - ・会長候補者選考結果及び平成25・26年度地区協議会議長について（報告）

[3] 地区協議会

(1) 平成24年度地区協議会の構成

北海道・東北地区協議会	[1] 札幌医科大学※ [2] 釧路公立大学 [3] 公立ほこだて未来大学※ <4> 名寄市立大学 <5> 札幌市立大学※ [6] 青森県立保健大学※ <7> 青森公立大学※ [8] 岩手県立大学※ [9] 宮城大学※ [10] 秋田県立大学※ [11] 国際教養大学※ [12] 山形県立保健医療大学※ [13] 福島県立医科大学※ [14] 会津大学※	近畿地区協議会	[45] 滋賀県立大学※ [46] 京都府立大学※ [47] 京都府立医科大学※ <48> 京都市立芸術大学※ [49] 大阪府立大学※ <50> 大阪市立大学※ [51] 兵庫県立大学 <52> 神戸市外国語大学※ <53> 神戸市看護大学 [54] 奈良県立医科大学※ [55] 奈良県立大学 [56] 和歌山県立医科大学※
関東・甲信越地区協議会	[15] 茨城県立医療大学 [16] 群馬県立女子大学 [17] 群馬県立県民健康科学大学 <18> 高崎経済大学※ <19> 前橋工科大学 [20] 埼玉県立大学※ [21] 千葉県立保健医療大学 [22] 首都大学東京※ [23] 産業技術大学院大学※ [24] 神奈川県立保健福祉大学 <25> 横浜市立大学※ [26] 新潟県立看護大学 [27] 新潟県立大学※ [28] 山梨県立大学※ <29> 都留文科大学※ [30] 長野県看護大学	中国・四国地区協議会	{57} 鳥取環境大学※ [58] 島根県立大学※ [59] 岡山県立大学※ <60> 新見公立大学※ [61] 県立広島大学※ <62> 広島市立大学※ <63> 尾道市立大学※ <64> 福山市立大学 [65] 山口県立大学※ <66> 下関市立大学※ [67] 香川県立保健医療大学 [68] 愛媛県立医療技術大学※ [68] 高知県立大学※ [70] 高知工科大学※
東海・北陸地区協議会	[31] 富山県立大学 [32] 石川県立看護大学※ [33] 石川県立大学※ <34> 金沢美術工芸大学※ [35] 福井県立大学※ [36] 岐阜県立看護大学※ [37] 情報科学芸術大学院大学 <38> 岐阜薬科大学 [39] 静岡県立大学※ [40] 静岡文化芸術大学※ [41] 愛知県立大学※ [42] 愛知県立芸術大学※ <43> 名古屋市立大学※ [44] 三重県立看護大学※	九州・沖縄地区協議会	[71] 九州歯科大学※ [72] 福岡女子大学※ [73] 福岡県立大学※ <74> 北九州市立大学※ [75] 長崎県立大学※ [76] 熊本県立大学※ [77] 大分県立看護科学大学※ [78] 宮崎県立看護大学 <79> 宮崎公立大学※ [80] 沖縄県立芸術大学 [81] 沖縄県立看護大学 (82) 名桜大学※

[] 都道府県立大学、{ } 県市共同立大学、< > 市立大学、() 事務組合等の設置する大学、
※ 公立大学法人の設置する大学

(2) 開催経過

○北海道・東北地区協議会〔議長校 岩手県立大学〕

参加 14 大学 29 名 文部科学省田頭課長補佐、奥野会長、中田事務局長

日時 平成 24 年 9 月 13 日 (木) 15 : 35 ~ 17 : 00

場所 岩手県立大学 (本部棟 3 階大会議室)

次第

1 開会

2 議長挨拶

公立大学協会北海道・東北地区協議会

理事 (岩手県立大学長) 中村慶久

3 会長挨拶

公立大学協会会長

大阪府立大学長 奥野武俊

4 出席者紹介

5 議事

(1) 公立大学協会理事会提案議題

・公立大学にふさわしい認証評価の在り方について

(2) 地区協議会提案議題

各大学からの提案議題について

・大学職員の育成について (札幌市立大学)

・県内就職について (青森県立保健大学)

・推薦入試の県内枠について (青森県立保健大学)

・教員評価制度について (青森県立保健大学)

・大学と地域の連携について (青森県立保健大学)

・第 2 次中期目標・中期計画について (青森県立保健大学)

(3) 平成 25 ~ 26 年度の議長校選出方法について

6 閉会

※13 : 30 ~ 15 : 20 公開フォーラム「大学改革、教育改革の方向について」

※18 : 00 ~ 20 : 00 情報交換会

○関東・甲信越地区協議会〔議長校 山梨県立大学〕

参加 14 大学 29 名 文部科学省田頭課長補佐、浅田副会長、中田事務局長

日時 平成 24 年 9 月 21 日 (金) 14 : 00 ~

場所 山梨県立大学 (池田キャンパス大会議室)

1 開会

2 議長校学長挨拶

3 会長挨拶

公立大学協会副会長 浅田尚紀 広島市立大学長

4 議事

(1) 大学改革実行プランへの対応について

(講演) 文部科学省高等教育局大学振興課

田頭吉一 課長補佐 (併) 公立大学専門官

(2) 公立大学にふさわしい認証評価について

(講演) 公立大学協会 中田 晃 事務局長

(3) 平成 25 ~ 26 年度の議長校選出方法について

(4) その他

5 閉会

○東海・北陸地区協議会〔議長校 金沢美術工芸大学〕

参加 14 大学 33 名 文部科学省田頭課長補佐、宮林大学院係、中田事務局長

日時 平成 24 年 9 月 28 日（金） 13：30～17：30

場所：金沢美術工芸大学（視聴覚教室（講演）、研修室（会議））

- 1 開会（15：30）
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 会議（～17：30）
 - (1) 報告
「公立大学にふさわしい認証評価について」
（公立大学の質保証に関する特別委員会）
 - (2) 公立大学協会提案の協議議題
 - ①公立大学にふさわしい認証評価の在り方について
 - (3) 協議会会員校提案議題
 - ①労働契約法の改正に伴う任期付教員の取扱いへの対応について（静岡県立大学）
 - ②教員の任期付採用について（静岡文化芸術大学）
 - ③教員の授業担当科目数の設定について（静岡文化芸術大学）
 - ④学生による「授業評価アンケート」の組織的活用について（愛知県立芸術大学）
 - (4) 協議事項
「東海・北陸地区協議会平成 25～26 年度の議長校選出（方法）について」
- 5 閉会（17：30）

情報交換会（18：00～19：30）フュージョン 21（金沢 21 世紀美術館内）

○東海・北陸地区協議会 研修会

参加 11 大学 25 名 杉浦事務局員

日時 平成 24 年 9 月 28 日（金） 15：30～17：30

場所：金沢美術工芸大学 集会ホール

「業務を効果的に継承する方法について～事例と学びの交流会とレクチャー～」

○近畿地区協議会〔議長校 和歌山県立医科大学〕

参加 12 大学 22 名 中田事務局長

日時 平成 24 年 9 月 10 日（月） 12：55～

場所 ホテルグランヴィア和歌山（6 階・アクアグラン、ル・グラン）

- 1 開会（12：55～）
- 2 議長あいさつ
和歌山県立医科大学 板倉 徹 学長
- 3 公立大学協会会長あいさつ
公立大学協会 奥野 武俊 会長
- 4 特別講演（13：00～）
演題 公立大学法人の課題と新しい動き
～法人化 10 年に向けて～
講師 公立大学協会
矢田 俊文 相談役
- 5 評価制度について
 - (1) 大学改革実行プランについて（14：10～）
文部科学省高等教育局大学振興課
田頭 吉一 課長補佐
 - (2) 公立大学にふさわしい認証評価について（14：30～）
公立大学協会

中田 晃 事務局長

(3) シンポジウム

大学認証評価制度について～問題点とあるべき姿～

- 6 近畿地区協議会提案議題 (6:30～)
 - (1) 設置者等との関係について
 - (2) 事務専門職員(非正規職員)の業務内容と勤務条件について
- 7 来年度議長校について
- 8 閉会
- 9 情報交換会 (17:00～)

○中国・四国地区協議会 [議長校 高知工科大学]

参加 14 大学 29 名 中田事務局長、斉藤事務局長

日時 9 月 7 日 (金) 14:00～17:30

場所 高知県立大学 (本部・健康栄養学部棟 2 階役員会議室)

- 1 開会挨拶 14:00～14:10
- 2 報告 14:10～14:40
「公立大学にふさわしい認証評価について」(公立大学協会)
- 3 協議 14:40～15:40
「公立大学にふさわしい認証評価について」
(休憩 15:40～16:00)
- 4 提案議題 16:00～17:15
 - ・教員の任期制と労働契約法の改正案について (高知県立大学)
 - ・「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」への対応について (山口県立大学)
- 5 その他 17:15～17:30

○九州・沖縄地区協議会 [議長校 長崎県立大学]

参加 12 大学 30 名 中田事務局長

日時 平成 24 年 9 月 12 日 (水) 13:30～17:30

会場 長崎県立大学シーボルト校 (特別会議室)

- 1 議長挨拶 (13:30～13:35)
九州・沖縄地区協議会議長 太田博道 長崎県立大学長
- 2 公立大学協会会長挨拶 (13:35～13:45)
公立大学協会副会長 近藤倫明 北九州市立大学長
- 3 議事 (13:45～17:00)
 - (1) 報告事項
「公立大学にふさわしい認証評価について」
公立大学の質保証に関する特別委員会
 - (2) 共通協議事項
・公立大学にふさわしい認証評価について
(休憩)
 - (3) 九州・沖縄地区協議会の会員校提案議題
 - ・大学教育の質的転換について
 - ・地域再生の核となる大学づくり (COC (Center of Community) 構想) について
 - (4) 平成 25～26 年度の議長・副議長について
- 4 施設見学 (17:00～17:30)

[4] 部会活動（部会名簿は 77 頁に掲載）

○医科歯科部会 事務局長会議 [部会長校 名古屋市立大学]

日時 平成 24 年 7 月 27 日 (金) 13 : 30 ~ 19 : 00

場所 ルブラ王山 (公立学校共済組合)

出席者 9 大学 23 人、中田事務局長

文部科学省医学教育課 村田善則課長、原田直子技術参与、永尾祐介医学教育係

次第

- 1 開会
- 2 幹事校・議長挨拶
- 3 来賓紹介
- 4 自己紹介
- 5 講演「文部科学行政の現状と当面する諸課題」
講師 文部科学省高等教育局医学教育課 村田 善則 課長
- 6 議事
 - (1) 国の予算及び施策に対する要望活動について
 - (2) 平成 25 年度幹事校について
 - (3) 報告事項
国立大学医学部長会議へのオブザーパー参加について
 - (4) 承合事項
 - ① 共用試験 (CBT OSCE) の費用負担について
 - ② ・臨床研修の期間延長に伴うカリキュラム改定の進捗状況について
・いわゆる臨床実習 72 週問題について
・医学教育「認証制度」発足に向けた各校の取組状況について
 - ③ 担任制について
 - ④ 医学科の推薦入試の実施について
 - ⑤ 講座の再編・統合について
 - ⑥ 医学部定員増に伴う地域枠学生の卒後臨床研修について
 - (5) その他
- 7 閉会

○薬学部会 [部会長校 名古屋市立大学]

日時 平成 24 年 11 月 1 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 47

会場 名古屋市立大学薬学部 (研究棟 2 階会議室)

出席者 3 大学 11 人

次第

あいさつ

公立大学法人名古屋市立大学 戸苅 創 理事長挨拶

- 1 薬学教育関係
 - ・地方交付税基準財政需要額の教育費にかかる単位費用について
- 2 薬学部教養教育関係
 - ・1 年次の専門科目について
 - ・教養教育の理科系科目の教育について
 - ・1 年次の実習の実態について (期間や内容など)
- 3 6 年制薬学科の教育関係
 - ・入学者の確保について
 - ・研究室配属と卒業研究について
 - ・卒業生の就職および進学状況について
 - ・6 年制教育の見直し課題について
 - ・来年度以降の実務実習費について
 - ・東海調整機構の今後のあり方について

- 4 4年制学科の教育関係
 - ・入学者の確保について
 - ・研究室配属について
 - ・大学院への進学状況について
 - ・就職状況について
 - ・4年制教育の見直しと課題について
- 5 大学院教育関係
 - ・博士課程（4年制）の状況（入学者数）と今後の課題について
 - ・博士前期および後期課程の状況（入学者数など）と今後の課題について
- 6 その他
 - ・大学院の飛び級制度について
 - ・公益財団法人 薬学研究奨励財団からの寄附の要望について

○看護・保健医療部会 [部会長校 神戸市看護大学]

日時 平成24年7月6日（金）13:30～17:00

場所 神戸市看護大学（ホール）

出席者 44大学58人、荻上絃一大妻女子大学長、中田事務局長

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議長選出
- 4 公立大学をめぐる状況 公立大学協会 中田晃 事務局長
- 5 第2委員会からの報告 青森県立保健大学 リボウィッツよし子 学長
- 6 議事
 - (1) 平成23年度事業報告について
 - (2) 平成24年度事業計画（案）について
 - (3) 新規入会校の承認について
 - (4) 次期役員を選出について
 - (5) 照会事項
- 7 基調講演

「看護・保健医療系公立大学の抱える課題と今後のあり方について」

講師：大妻女子大学 荻上絃一 学長（元公立大学協会長）
- 8 閉会

○人文系部会 [部会長校 大阪市立大学]

日時 平成24年11月9日（金）14:00～17:00

場所 ホテルアウイーナ大阪

出席者 19大学35人

次第

- 1 開会挨拶

部会長校 大阪市立大学 桐山孝信 副学長
- 2 議事
 - (1) 平成23年度活動状況報告について
 - (2) 平成24年度研究テーマについて

「全学共通教育」に関するアンケート調査結果について
 - (3) 平成25年度調査課題について

<参考> 過去5年の調査課題テーマ

 - 平成19年度：「学生の就職力と大学の支援」
 - 平成20年度：「法人化後の状況」
 - 平成21年度：「認証評価に向けた準備、課題、対応等」
 - 平成22年度：「初年次教育」
 - 平成23年度：「キャリア教育」

- 3 照会事項
 - (1) 学部改革について
 - (3) 主専攻・副専攻の導入状況について
 - (4) 大学事務体制の改革の現状と課題について
- 4 その他
- 5 閉会

○第34回公立大学協会「商・経・経営学部会」[部会長校 釧路公立大学]

日時 平成24年9月7日(金) 13:00~16:35

場所 釧路公立大学(第1会議室)

出席者 16大学20名

内容

- (1) 経済・経営系学部のアピールの仕方について(高崎経済大学)
- (2) 秋入学への対応状況について(高崎経済大学)
- (3) 1年生の指導教員体制について(名古屋市立大学)
- (4) 「グローバル人材育成」という課題に対する対応について(大阪市立大学)
- (5) 大学の公式情報発信ツールとしてのFBの利用について(兵庫県立大学)
- (6) 副専攻について(北九州市立大学)

○第42回公立大学協会「商・経・経営学部会 事務研究会」

日時 平成24年9月7日(金) 13:00~16:30

場所 釧路公立大学第2会議室

出席者 16大学27名

内容

- (1) インターンシップの単位化について(岩手県立大学)
- (2) 授業料未納者の取り扱いについて(高崎経済大学)
- (3) 証明書発行に係る取扱規程の制定について(高崎経済大学)
- (4) 講義(授業)時における学生の出席確認方法について(名古屋市立大学)
- (5) 教職業務の事務体制について(大阪市立大学)
- (6) 教務システムについて(大阪市立大学)
- (7) 計画停電時の対応について(兵庫県立大学)
- (8) 学生への連絡事項周知方法について(兵庫県立大学)
- (9) 海外インターンシップの実施状況について(県立広島大学)
- (10) 休学中の単位認定について(下関市立大学)
- (11) 編入生の既修得単位の認定・卒業必要単位数の設定について(下関市立大学)
- (12) ソーシャルメディアの活用について(下関市立大学)
- (13) 学位記の交付方法について(北九州市立大学)
- (14) 平成27年度センター試験科目変更に伴う対応について(長崎県立大学)
- (15) 保護者への成績開示について(釧路公立大学)

○社会福祉学系部会[部会長校 大阪市立大学]

日時 平成24年11月17日(土) 13:00~17:00

場所 大阪市立大学(杉本キャンパス学術情報センター10階)

出席者 13大学28人

1 開会

2 部会長校挨拶 大阪市立大学大学院生活科学研究科 畠中宗一 研究科長

3 出席者自己紹介

4 議事

(1) 協議事項

- ① 当該自治体における公立大学福祉系学部の位置づけについて
- ② 当該自治体の福祉行政・福祉施策への公立大学福祉系教員の貢献について

- ③ 公立大学における福祉専門職養成の意義のアピールについて
- (2) 承合事項
 - ① 当該自治体の福祉人材養成に対する貢献や関わりについて
 - ② 社会福祉士・精神保健福祉士の両課程のカリキュラムについて
 - ・両課程のカリキュラムや時間割作成の工夫について
 - ・標準年限での両資格取得による卒業について
 - ③ 卒業生に対する支援・教育について
 - ・福祉職卒業生への卒後教育について
 - ・卒業生への国試受験支援について
 - ④ 新カリキュラムに基づく社会福祉士等養成にかかる実習・演習について
 - ・日本社会福祉士養成校協会「実習指導者ガイドライン（案）」等について
 - ・新カリキュラムに基づく配属実習での帰校日指導の方法について
 - ・厚生局への変更事項等の届出について
 - ・実習指導者要件に関する経過措置終了後の実習先について
 - ・特別な配慮を必要とする学生への実習・演習のあり方について
 - ・実習施設等からの学生ボランティア依頼について
 - ・社会福祉士養成等に係る配属実習以外の実習について
 - ⑤ 認定社会福祉士制度の研修認証申請について
 - ⑥ 各大学の「学位授与の方針」「教育課程の編成・実施方針」「入学者受入の方針」について
 - ⑦ 大学院修士課程の学生募集について
- (3) その他

5 閉会

○理学部会 [部会長校 大阪府立大学]

日時 平成 24 年 10 月 26 日 (金) 13 : 30~16 : 30

場所 大阪府立大学 (A13 サイエンス棟会議室)

○工学部会 [部会長校 広島市立大学]

第 62 回公立大学協会工学部長会議・第 45 回公立大学協会工学部事務長会議

日時 平成 24 年 10 月 25 日 (木) 14 : 30~

場所 三井ガーデンホテル (3 階・白鳳 (西))

次第

1 開会

2 開催校挨拶

3 参加校自己紹介

4 議事

(1) 議事項

① 平成 24 年度 公立大学協会工学部会の活動 (案) について

② 平成 24 年度 公立大学協会工学部会収支決算 (案) について

(2) 協議事項

① 学生の学修時間の確保方策について

② グローバル人材育成について

③ 事務局職員の確保及び人材育成について

④ 内部研究費の取り扱いについて

⑤ 大学院教育における産業界との連携について

5 その他

(1) 次回開催校について

(2) その他伝達事項

6 閉会

○農学部会〔部会長校 滋賀県立大学〕

日時 平成24年11月2日(金) 10:00~17:30

場所 滋賀県立大学(A0棟3階評議会室)

出席者 8大学20名

次第

1 開会

2 あいさつ 滋賀県立大学 大田 啓一 学長

3 出席者自己紹介

4 議事

【協議事項】

(1) 大学院における組織的な教育・研究指導體制について

(2) 大学院生(博士後期課程)への奨学金・授業料無償化等優遇措置の検討状況について

【承合事項】

・ 学部生の留年・休学の状況について

【その他】

・ 次期部会長校(当番校)および副部会長校の選出について

5 大学施設見学

6 閉会

○芸術部会〔部会長校 広島市立大学〕

日時 平成24年10月16日(火) 13:30~

場所 広島市立大学(本部棟2階大会議室)

出席者 12大学16人、中田事務局長

次第

1 開会あいさつ 広島市立大学 浅田尚紀 学長

2 講演 広域大学知的財産アドバイザー 丞村宏 客員教授

3 議事

(1) 協議議題

① 芸術系大学として地域の児童、生徒に対して行っている事業について
(提案大学:金沢美術工芸大学)

② 「アート&デザインの社会的役割」について
(提案大学:札幌市立大学)

③ 芸術系大学における、グローバル人材育成の現状と課題について
(提案大学:岡山県立大学)

(2) 来年度開催大学について

4 公立大学協会の事業説明 公立大学協会 中田晃 事務局長

5 大学施設見学

○情報部会〔部会長校 情報科学芸術大学院大学〕

日時:平成24年11月16日(金) 13時30分

場所:ソフトピアジャパン センタービル(10F会議室)

出席者 24大学49人

次第

1 開会

2 部会長校(開催)挨拶

情報科学芸術大学院大学 関口敦仁 学長

3 議長選出

4 議事

(1) 各校からの議題について

(2) 今後の部会開催方法について

(3) その他

5 閉会

○生活科学・環境学系部会 [部会長校 滋賀県立大学]

日時 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 13:30~17:00

場所 滋賀県立大学人間文化学部 (D0-202 会議室)

出席者 12 大学 23 人

議題

【協議事項】

A 学科運営と将来方向

- ・生活科学・環境学系分野の将来展望について (大阪市立大学)
- ・大学院進学者の確保策と進学者の問題点 (熊本県立大学)
- ・管理栄養士養成課程における専任教員の確保について (滋賀県立大学)
- ・健康支援活動における大学の取り組みについて (県立広島大学)
- ・管理栄養士養成課程におけるグローバル教育への取組みとその専門家育成教育への影響について (岡山県立大学)

B 外的要因への対応

- ・就職活動が卒業研究に及ぼす影響とその対策 (熊本県立大学)
- ・平成 29 年度からの管理栄養士国家試験の日程の変更に伴う対策 (熊本県立大学)
- ・平成 29 年度から管理栄養士国家試験の実施時期が早まることに対し、卒業研究やその他授業の開講時期・形態等の変更、あるいは、カリキュラム変更を考えておられるか (山口県立大学)

C 教育

- ・臨地実習 (給食経営管理、臨床栄養、公衆栄養) の実習先確保の状況と、実習内容の均質化に向けた取組みについて、具体的に教えていただきたい (山口県立大学)
- ・栄養教諭 1 種免許課程に関わる栄養教育実習について、1 単位の実施で栄養教諭の職務の中核をなす学校給食管理の知識・技能をどのように習得させておられるのか、その工夫について具体的に教えていただきたい (山口県立大学)
- ・理科科目について (高知県立大学)

【照合事項】

D 公立大学の特徴あるカリキュラム作り (長崎県立大学)

E 学位授与に関する評価基準の策定 (熊本県立大学)

F 3 つの方針の整合性検証や内部質保証について、どのような体制で取組まれているか (山口県立大学)

G 平成 27 年度大学入試センター試験の「理科」の利用科目及び科目数について、教えていただきたい (山口県立大学)

H ナンバリング、シラバスの記載内容について、現状及び変更計画をお尋ねしたい (山口県立大学)

I 教職課程について (高知県立大学)

○外国語学・国際関係系部会 [部会長校 愛知県立大学]

日時 9 月 14 日 (金) 14:00~17:00

場所 愛知県立大学 (サテライトキャンパス)

出席者 8 大学 20 名、斉藤事務局員

1 開会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 講演 公立大学協会 斉藤亜由美 事務局員

5 議長選出

6 承合事項

(1) リベラルアーツ教育について (群馬県立女子大学)

(2) 初年次教育の取り組み状況について (静岡県立大学)

- (3) 海外在住の外国人留学生試験受験希望者及び卒業生への対応について（神戸市外国語大学）
- (4) 外国人留学生に対する外国語教育について（山口県立大学）
- (5) 第2外国語の公的試験による目標設定とその達成について（北九州市立大学）
- (6) 各大学の海外現地事務所の開設状況及び留学生への対応について（長崎県立大学）
- (7) TOEIC などの公的検定試験の受験体制について（愛知県立大学）

7 その他

8 閉会

[5] 運営会議

○第1回運営会議

日時 平成24年6月15日(金) 9:30~10:00

- 1 公立大学の質保証に関する特別委員会委員について
- 2 中教審大学教育部会「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ(審議まとめ)」に関する公立大学協会の意見について
- 3 平成24年度第3回理事会及び常置委員会(7月4日)開催について
- 4 その他
 - ・一般社団法人公立大学協会旅費に関する申し合わせについて

○第2回運営会議

日時 平成24年7月4日(水) 11:30~12:00

場所 東京グランドホテル(3階・竹の間)

- 1 第3回理事会の運営について
- 2 各委員会について
- 3 その他
 - ・一般社団法人公立大学協会出張旅費規程運用基準について

○第3回公立大学の質保証に関する特別委員会、第3回運営会議

日時 平成24年8月22日(水) 13:30~16:30

場所 ホテルラフォーレ新大阪(19階・ヨーク)

【第3回 公立大学の質保証に関する特別委員会】

- 1 公立大学等にふさわしい新たな認証評価について
- 2 新たな評価機関の設立に関する今後の方針について(10月11日開催)
- 3 平成24年度 第2回高等教育改革フォーラム
「公立大学の法人評価と認証評価のあり方」について

【第3回 運営会議】

- 1 平成24年度地区協議会について
- 2 平成24年度第4回理事会について(10月10日開催)
- 3 平成24年度学長会議について
- 4 その他

○第4回公立大学の質保証に関する特別委員会、第4回運営会議

日時:平成24年10月10日(水) 10:30~12:00

場所:メルパルク東京(2階・桂)

【第4回 公立大学の質保証に関する特別委員会】

- 1 公立大学にふさわしい認証評価の在り方について
 - ・各地区協議会での議論について(報告)
 - ・今後の検討について
- 2 平成24年度 第2回高等教育改革フォーラム(第1回副学長等協議会)について

【第4回 運営会議】

- 1 平成24年度 第1回理事懇談会・第4回委員会合同会議について
- 2 その他

○第6回公立大学の質保証に関する特別委員会、第5回運営会議

日時 平成24年11月7日(水) 19:00~20:00、11月8日(木) 11:00~13:00

場所 11月7日(水) ホテルアソシア静岡、11月8日(木) 静岡県立大学

【第5回 運営会議】

- 1 平成24年度 学長会議の運営について
- 2 その他

【第6回 公立大学の質保証に関する特別委員会】

- 1 公立大学の質保証に関する特別委員会中間レポート(未定稿)について

2 その他

○第6回運営会議

日時 平成24年12月7日(金) 12:30~13:45

場所 東京グランドホテル(3階・松の間)

1 平成25年度の事業にかかわる件

- ・先導的・大学改革推進委託事業への申請について
- ・事務局移転の検討について

2 その他

- ・地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)についての要望
- ・平成25年度会費に関する取扱いについて(福島県立医科大学)
- ・事務局長等連絡協議会 開催報告(名古屋市立大学提案事項)

○第7回運営会議

日時 平成25年2月7日(金) 11:00~12:30

場所 メルパルク東京(2階・樺)

1 平成24年度第4回理事会、第5回委員会合同会議開催について

2 その他

○第6回公立大学の質保証に関する特別委員会・第8回運営会議

日時 平成25年2月22日(金) 12:00~13:00

場所 学士会館(1階・二色)

(1) 平成24年度第4回高等教育改革フォーラムについて

(2) その他

- ・平成25年度事業計画(素案)について
- ・国際教養大学 中嶋嶺雄学長の訃報について
(3/17 国際教養大学多目的ホール 13:00~、奥野会長・中田事務局長参列)

[6] その他の協議会等

- 平成24年度第2回高等教育改革フォーラム・第1回副学長等協議会（併会）
「公立大学にふさわしい認証評価の在り方 ー法人評価との一体的運用を視野に一」
日時 平成24年10月11日（木）10：30～16：30
場所 メルパルク東京（5階・瑞雲）
対象 学長、副学長、認証評価に携わる教職員、設置団体の評価担当者等
参加 126名
開会あいさつ（10：30～10：40）公立大学協会 奥野武俊 会長（大阪府立大学長）
- (1) 報告（10：40～12：00）
①認証評価及び公立大学法人評価の運用の現状と課題
～2つの大学の事例から認証評価及び公立大学法人評価に関する課題の再確認を行います
報告：広島市立大学 浅田尚紀 学長（認証評価：平成21年度／大学基準協会）
北九州市立大学 近藤倫明 学長
（認証評価：平成21年度／大学評価・学位授与機構）
②評価の「見える化」の試み
～法人評価や様々なステークホルダーからの評価を一覧に見える化し、機関別評価とする可能性を探る
報告：公立大学の質保証に関する特別委員会
- (2) 講演（13：00～14：30）
①「評価制度の抜本的改革」が目指すもの～国際通用性の担保、アウトカム評価等を中心に～
講師：文部科学省高等教育企画課 秋山卓也 大学評価専門官
②大学組織における評価・企画機能の役割と質の保証システムについて
講師：名古屋大学 評価企画室副室長 栗本英和 教授
- (3) フォーラム（14：50～16：20）
公立大学が形成する評価コミュニティの中で、公立大学の機能を強化する評価を実施することの可能性について、認証評価受審の経験や公立大学法人評価（設置団体の評価）の現状を踏まえて議論します。
司会 兵庫県立大学 清原正義 学長
全体の振り返り（16：20～16：30）奥野会長
-
- 平成24年度第2回副学長等協議会（テーマ：入学者選抜の課題）
日時 平成24年12月7日（金）10：00～12：30
会場 東京グランドホテル（3階・桜の間）
参加 87名
次第
趣旨説明 第2委員会 木苗直秀 委員長・副会長（静岡県立大学長）
1 講演：「大学入学者選抜に係る動向」
講師：文部科学省 平野 誠 大学入試室長
2 協議
司会：木苗 直秀 委員長
助言者：近藤 倫明 副会長（北九州市立大学長／高大接続特別部会委員）
柴田洋三郎 福岡県立大学長（前大学入試センター 試験・研究統括官）
協議事項と協議のポイント
(1) 大学入試センター試験の課題
・秋入学を踏まえての現行のセンター試験の方向性（熊本県立大学）
・（仮）高大接続テストの検討状況（熊本県立大学）
(2) 大学入試改革と高校・大学教育の質的転換
・意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価に基づく大学入試の在り方

(静岡県立大学)

- ・入試時における面接の実効果の検証法（奈良県立医科大学）
- (3) 公立大学の入試における課題
 - ・地域の高等学校と公立大学との連携強化について（山梨県立大学）
 - ・地域枠等の特別選抜試験のあり方について（沖縄県立看護大学）
- (4) その他
 - ・公立大学協会が行う入試に関する事業について
 - ・今後の取組みについて

○平成 24 年度評価担当者懇談会

日時 平成 25 年 2 月 22 日（金）10：00～12：00

場所 学士会館（202 号室）

参加 50 名

次第

開会

挨拶・趣旨説明 第 3 委員会 浅田尚紀 委員長（広島市立大学長）

1 全体協議（10：10～11：10）

(1) 話題提供

- ・法人評価と認証評価の課題（相互参照の仕組みづくり等）
説明者：公立大学の質保証に関する特別委員会
公立大学協会 中田晃 事務局長

- ・第 2 期国立大学法人評価の改革について

説明者：大学評価・学位授与機構 小笠原千寿 評価企画課長

(2) 質疑応答

2 グループ協議（11：10～12：00）

（協議事項の例）

- ・法人評価における実施上の課題について
- ・中期目標期間の評価における認証評価の踏まえ方
- ・評価担当者の研修について
- ・評価の検討に関する協会への要望等について
- ・その他のテーマ

閉会

3 理事会・運営会議総括事項

[1] 関連団体の会議等への出席

- 公立大学図書館協議会事務長会・総会 平成24年6月7日(木)・8日(金)
場所 秋田ビューホテル
あいさつ：中田 晃 事務局長
- 全国公立大学設置団体協議会総会 平成24年7月2日(月)
場所 ヴィアーレ大阪
あいさつ：奥野 武俊 会長 説明等：中田 晃 事務局長
- 日中大学フェア&フォーラム実行委員会 委員：奥野 武俊 会長
フォーラム開催 平成24年9月27日(木)・28日(金) → 延期
- 全国公立大学設置団体協議会職員研修会 平成25年2月1日(金)
場所 にぎたつ会館(楓の間)(愛媛県)
出席：中田 晃 事務局長

[2] 公立大学協会に対する要望書の受理

受領日	要望団体名等	要望内容
12.10.05	全国高等学校長協会家庭部会 同 進路調査研究委員会	家庭に関する学科等卒業者の入学者選抜についての要望書

4 特別委員会

[1] 公立大学の質保証に関する特別委員会開催経過

<p>○平成 24 年度第 1 回</p> <p>日程 平成 24 年 5 月 18 日 (金) ～23 日 (水)</p> <p>場所 持ち回り会議</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 公立大学の質保証に関する特別委員会の設置等について(2) 公立大学等の地域の要請を踏まえた教育・研究を行う大学にふさわしい「大学評価基準 (第 1 次素案)」について(3) 法令により認証評価機関に求められる要件について(4) 新たな評価機関の設立に関する今後の方針について(5) 平成 24 年度 第 1 回高等教育改革フォーラム(6) その他
<p>○平成 24 年度第 2 回</p> <p>日程 平成 24 年 6 月 15 日 (金)</p> <p>場所 公立大学協会事務局</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 公立大学の質保証に関する特別委員会の設置等について(2) 公立大学等の地域の要請を踏まえた教育・研究を行う大学にふさわしい「大学評価基準 (第 1 次素案)」について(3) 法令により認証評価機関に求められる要件について(4) 新たな評価機関の設立に関する今後の方針について(5) 平成 24 年度 第 1 回高等教育改革フォーラム(6) その他
<p>○平成 24 年度第 3 回 (再掲)</p> <p>日時 平成 24 年 8 月 22 日 (水) 13 : 30～16 : 30</p> <p>場所 ホテルラフォーレ新大阪 (19 階・ヨーク)</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 公立大学等にふさわしい新たな認証評価について(2) 新たな評価機関の設立に関する今後の方針について (10 月 11 日開催)(3) 平成 24 年度 第 2 回高等教育改革フォーラム「公立大学の法人評価と認証評価のあり方」について
<p>○平成 24 年度第 4 回 (再掲)</p> <p>日時 平成 24 年 10 月 10 日 (水) 10 : 30～12 : 00</p> <p>場所 メルパルク東京 (2 階・桂)</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 公立大学にふさわしい認証評価の在り方について<ul style="list-style-type: none">・各地区協議会での議論について (報告)・今後の検討について(2) 平成 24 年度第 2 回高等教育改革フォーラム (第 1 回副学長等協議会) について
<p>○平成 24 年度第 5 回</p> <p>日時・場所 平成 24 年 11 月 7 日 (水) 19 : 00～20 : 00 ホテルアソシア静岡 11 月 8 日 (木) 11 : 00～13 : 00 静岡県立大学</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 公立大学の質保証に関する特別委員会中間レポート (未定稿) について(2) その他
<p>○平成 24 年度第 6 回 (再掲)</p> <p>日時 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 12 : 00～13 : 00</p> <p>場所 学士会館 (1 階・二色)</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 平成 24 年度第 4 回高等教育改革フォーラムについて

(2) その他

- ・平成 25 年度事業計画（素案）について
- ・国際教養大学 中嶋嶺雄学長の訃報について

(3/17 国際教養大学多目的ホール 13:00～、奥野会長・中田事務局長参列)

[2] 高等教育改革フォーラム

○平成 24 年度第 1 回高等教育改革フォーラム

テーマ 「公立大学にふさわしい認証評価のあり方について」

日時 平成 24 年 7 月 3 日（火）14:00～17:00

場所 東京グランドホテル（3 階・桜の間）

参加 95 名

次第

(1) 挨拶（14:00～14:20）

奥野 武俊 会長

板東久美子 文部科学省高等教育局長

佐々木雄太 中央教育審議会・大学教育部会長

(2) 報告「評価制度の課題と文部科学省における検討状況について」

（14:20～14:40）

義本 博司 高等教育企画課長

(3) 報告「公立大学にふさわしい認証評価基準について」（14:40～15:00）

公立大学の質保証に関する特別委員会

（休憩）

(4) パネルディスカッション「公立大学にふさわしい認証評価の在り方」

（15:20～17:00）

モデレータ：浅田尚紀 広島市立大学長（公立大学協会副会長）

パネリスト：工藤 潤 大学基準協会 事務局長

森 正夫 名古屋市公立大学法人評価委員長／三重県公立大学法人評価委員長

清原正義 兵庫県立大学長

奥野武俊 大阪府立大学長（公立大学協会会長）

○ 情報交換会（4 階・芙蓉）（17:00～18:30）

○平成 24 年度第 2 回高等教育改革フォーラム・第 1 回副学長等協議会（併会）（再掲）

「公立大学にふさわしい認証評価の在り方 ―法人評価との一体的運用を視野に―」

日時 平成 24 年 10 月 11 日（木）10:30～16:30

場所 メルパルク東京（5 階・瑞雲）

対象 学長、副学長、認証評価に携わる教職員、設置団体の評価担当者等

参加 126 名

開会あいさつ（10:30～10:40）奥野 武俊 会長（大阪府立大学長）

(1) 報告（10:40～12:00）

①認証評価及び公立大学法人評価の運用の現状と課題

～2つの大学の事例から認証評価及び公立大学法人評価に関する課題の再確認を行います

報告：浅田尚紀広島市立大学長（認証評価：平成 21 年度／大学基準協会）

近藤倫明北九州市立大学長

（認証評価：平成 21 年度／大学評価・学位授与機構）

②評価の「見える化」の試み

～法人評価や様々なステークホルダーからの評価を一覧に見える化し、機関別評価とする可能性を探る

報告：公立大学の質保証に関する特別委員会

(2) 講演（13:00～14:30）

①「評価制度の抜本的改革」が目指すもの～国際通用性の担保、アウトカム評価等を中心に～

講師：文部科学省高等教育企画課 秋山卓也 大学評価専門官

②大学組織における評価・企画機能の役割と質の保証システムについて

講師：名古屋大学 評価企画室副室長 栗本英和 教授

(3) フォーラム (14:50～16:20)

公立大学が形成する評価コミュニティの中で、公立大学の機能を強化する評価を実施することの可能性について、認証評価受審の経験や公立大学法人評価(設置団体の評価)の現状を踏まえて議論します。

司会 清原正義 兵庫県立大学長

(論点例)

①自己点検評価を行うに際し特に必要な着眼点、ミッションに沿って工夫すべき評価基準等。

②法人評価(設置団体の評価)と認証評価の有機的な結合について。

③公立大学の特性への配慮と、評価の客観性・公平性・国際通用性の担保とのバランス。

④公立大学関係者が自ら評価コミュニティを作り、大学改革を進めるための条件整備。

全体の振り返り (16:20～16:30) 奥野会長

○平成24年度第3回高等教育改革フォーラム

テーマ 大学ポートレートと認証評価

日時 平成24年12月7日(金) 14:00～17:00

会場 東京グランドホテル(3階・桜の間)

参加 112名

次第

開会

挨拶・趣旨説明 奥野 武俊 会長(大阪府立大学長)

(1) 講演

①大学ポートレートの意義と展望

講師：田中 聡明 文部科学省高等教育企画課高等教育政策室長

②報道機関としての大学情報調査の経験

講師：松本 美奈 読売新聞記者(『大学の實力』担当)

(2) 報告「公立大学の説明責任を果たすための評価のあり方」

公立大学の質保証に関する特別委員会

(3) パネルディスカッション

パネリスト：田中 聡明 文部科学省高等教育企画課高等教育政策室長

松本 美奈 読売新聞記者(『大学の實力』担当)

浅田 尚紀 広島市立大学長(大学ポートレート(仮称)準備委員会委員)

司 会：清原 正義 兵庫県立大学長

閉会

○平成24年度第4回高等教育改革フォーラム

テーマ：公立大学の地域貢献・地域連携機能の充実とその評価～2つの公立大学における評価ワークショップの結果を踏まえ～

日時 平成25年2月22日(金) 13:30～17:00

会場 学士会館(201号室)

参加 128名

次第

開会

挨拶・趣旨説明 奥野 武俊 会長(大阪府立大学長)

(1) 講演

- ・「域学連携」地域づくり施策について

講師：総務省地域力創造グループ地域自立応援課 牧 慎太郎 課長

- ・地（知）の拠点整備事業—大学 COC（Center of Community）事業について—

講師：文部科学省大学振興課 池田 貴城 課長

(2) パネルディスカッション

パネリスト：香取 薫 青森公立大学長

大田 啓一 滋賀県立大学長

奥野 武俊 会長（青森公立大学評価ワークショップ参加）

木苗 直秀 副会長（滋賀県立大学評価ワークショップ参加）

司 会：清原 正義 兵庫県立大学長

閉会

5 第1委員会

[1] 委員会の開催経過

<p>○平成24年度第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成24年4月17日(火) 13:00~15:50 会場 メルパルク東京(3階・薔薇)</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長挨拶2 会務報告3 「IRコンソーシアム」参加についての説明会についての報告
<p>○平成24年度第2回第1委員会(拡大委員会) 日時:平成24年5月24日(火) 13:30~15:00 会場:学士会館(202号室) テーマ「大学教育部会審議まとめに見る教育の質的転換の取組み」 コーディネーター:佐々木 雄太 委員長(前愛知県立大学長) ゲストスピーカー:大学基準協会 鈴木 典比古 専務理事</p>
<p>○平成24年度第3回第1委員会(第3委員会と合同開催) 日時 平成24年7月4日(水) 14:00~15:00 場所 東京グランドホテル(3階・菊の間)</p> <ol style="list-style-type: none">1 大学改革実行プランについて2 要望事項について
<p>○平成24年度第1回理事懇談会、第4回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 平成24年10月10日(水) 13:00~16:30 場所 メルパルク東京(3階・薔薇)</p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長あいさつ(13:00~13:05)2 行政説明(13:05~14:00) 文部科学省 池田貴城 大学振興課長3 会務報告(14:10~14:30)<ul style="list-style-type: none">・平成24年度地区協議会・その他4 平成24年度学長会議について(14:30~16:00)<ul style="list-style-type: none">・特別シンポジウムについて・COCに関する検討について・認証評価制度に関する検討について5 その他(16:00~16:30)<ul style="list-style-type: none">・第2回高等教育改革フォーラムについて(10/11開催)・平成24年度入学者選抜実務担当者協議会について(10/12開催)・改正労働契約法説明会について(10/18開催)・事務局長等連絡協議会について(12/6開催)
<p>○平成24年度第4回理事会、第5回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成25年2月7日(木) 13:00~16:00 場所 メルパルク東京(3階・牡丹)</p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 合同会議(理事会及び第1委員会、第2委員会、第3委員会の合同会議)<ol style="list-style-type: none">(1) 会長あいさつ(13:00~13:10)(2) 文部科学省 行政説明(平成25年度予算案)(13:10~13:50) 池田貴城 大学振興課長2 理事会(14:00~16:00)<ol style="list-style-type: none">(1) 会務報告<ul style="list-style-type: none">・全体

- ・第1委員会
- ・第2委員会
- ・第3委員会
- (2) 公立大学の質保証に関する特別委員会の検討状況について
 - ・検討経緯と課題の所在について
 - ・評価ワークショップ（青森公立大学、滋賀県立大学）の結果について
 - ・今後の取組みについて
- (3) その他
 - ・規程等の整備について
 - ・事務局の移転について
 - ・公立大学学生ネットワーク（仮称）の創設について
 - ・会長候補者選考結果及び平成25・26年度地区協議会議長について（報告）

[2] 会議等への出席・関係団体への対応

- 大学分科会（第105回）・大学教育部会（第16回） 5月29日（火）
「北九州市立大学における教学マネジメントーカリキュラム改革を通してー」（事例発表者：近藤副会長）
- 中教審高大接続特別部会（近藤副会長：委員）
第1回 9月28日（金） 第2回 10月31日（水） 第3回 11月30日（金）
第4回 12月17日（月） 第5回 1月15日（火）
- UMAP（委員名簿 P80）
ワーキンググループ委員会 7月5日（木）
国内委員会 8月20日（月）、1月22日（火）
- JACUIE（委員名簿 P80）
 - ・JUNBA2013開催について（情報提供） 8月3日（金）
 - ・JSPS サンフランシスコ研究連絡センター 英文ニューズレター掲載記事募集等への協力について（情報提供） 6月号5月30日（水）、9月号8月3日（金）、12月号12月4日（水）、3月号2月27日（水）
- 日中大学フェア&フォーラム
第3回日中大学フェア&フォーラム推進委員会（委員：奥野武俊 会長）
第1回 4月12日（木） 第2回 6月25日（月）（中田事務局長代理出席）

6 第2委員会

[1] 委員会の開催経過

<p>○平成24年度第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成24年4月17日(火) 13:00~15:50 会場 メルパルク東京(3階・薔薇)</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長挨拶2 会務報告3 「IRコンソーシアム」参加についての説明会についての報告
<p>○平成24年度第2回第2委員会(拡大委員会) 日時:平成24年5月24日(火) 13:30~15:00 会場:学士会館(203号室) テーマ「公立大学の国際化戦略を巡って」 コーディネーター:木苗直秀 委員長(静岡県立大学長) ゲストスピーカー:名古屋大学 濱口道成 総長</p>
<p>○平成24年度第3回第2委員会 日時 平成24年7月4日(水) 14:00~15:00 場所 東京グランドホテル(3階・竹の間)</p> <ol style="list-style-type: none">1 平成26年度実施入試実施要領・実施細目(案)及び平成25年度「学生募集要項」作成にあたっての共通の注意事項について2 平成25年度大学入試センター試験における地理歴史、公民及び理科の成績の利用方法について及び秋入学について3 平成27年度大学入試センター試験からの理科の出題方法の一部変更について(情報提供)4 秋田公立美術大学(H25開学)の入試方式について(中期日程)
<p>○平成24年度第1回理事懇談会、第4回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 平成24年10月10日(水) 13:00~16:30 場所 メルパルク東京(3階・薔薇) 次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長あいさつ(13:00~13:05)2 行政説明(13:05~14:00) 文部科学省 池田貴城 大学振興課長3 会務報告(14:10~14:30)<ul style="list-style-type: none">・平成24年度地区協議会・その他4 平成24年度学長会議について(14:30~16:00)<ul style="list-style-type: none">・特別シンポジウムについて・COCに関する検討について・認証評価制度に関する検討について5 その他(16:00~16:30)<ul style="list-style-type: none">・第2回高等教育改革フォーラムについて(10/11開催)・平成24年度入学者選抜実務担当者協議会について(10/12開催)・改正労働契約法説明会について(10/18開催)・事務局長等連絡協議会について(12/6開催)
<p>○平成24年度第4回理事会、第5回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成25年2月7日(木) 13:00~16:00 場所 メルパルク東京(3階・牡丹) 次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 合同会議(理事会及び第1委員会、第2委員会、第3委員会の合同会議)<ol style="list-style-type: none">(1) 会長あいさつ(13:00~13:10)

- (2) 文部科学省 行政説明（平成 25 年度予算案）（13：10～13：50）
池田貴城 大学振興課長
- 2 理事会 （14：00～16：00）
- (1) 会務報告
- ・全体
 - ・第 1 委員会
 - ・第 2 委員会
 - ・第 3 委員会
- (2) 公立大学の質保証に関する特別委員会の検討状況について
- ・検討経緯と課題の所在について
 - ・評価ワークショップ（青森公立大学、滋賀県立大学）の結果について
 - ・今後の取組みについて
- (3) その他
- ・規程等の整備について
 - ・事務局の移転について
 - ・公立大学学生ネットワーク（仮称）の創設について
 - ・会長候補者選考結果及び平成 25・26 年度地区協議会議長について（報告）

[2] 会議等への出席・関係団体への対応

- 大学入学者選抜方法の改善に関する協議（木苗副会長：協力者）
第 1 回 5 月 28 日（月） 第 2 回 7 月 18 日（水）
- 就職問題懇談会（木苗副会長、伊藤理事：委員）
第 1 回 6 月 20 日（水） 第 2 回 8 月 21 日（火） 第 3 回（持ち回り開催）
第 4 回 3 月 12 日（火）
- 内閣府男女共同参画推進連携会議「ワーク・ライフ・バランスの取組推進」チーム（木苗副会長：委員）
第 1 回 6 月 19 日（火） 第 2 回 7 月 19 日（木） 第 3 回 9 月 21 日（金）
第 4 回 10 月 2 日（火）

[3] 主催行事等

- ティーチングポートフォリオ作成ワークショップ
日時 平成 24 年 9 月 12 日（水）～9 月 14 日（金）
場所 八王子セミナーハウス
参加 6 名
メンター 大学評価・学位授与機構 研究開発部 栗田佳代子 准教授
大阪府立大学工業高等専門学校 一般科目理系（化学） 北野健一 准教授
早稲田大学 人間科学学術院 尾澤重知 准教授

	9月12日(水)		9月13日(木)		9月14日(金)	
	メンティー	メンター	メンティー	メンター	メンティー	メンター
9:00			TP作成作業	メンターミーティング3	TP作成作業	メンターミーティング7
10:00			個人メンタリング2		個人メンタリング4	
11:00			TP作成作業	メンターミーティング4	TP作成作業	メンターミーティング8
12:00			意見交換+昼食		「よりよりメンターとなるために」 (昼食をとりながら)	
1:00PM		メンターミーティング1				
2:00PM	オリエンテーション		TP作成作業		TP作成作業& プレゼン準備	メンターミーティング9
3:00PM	個人メンタリング1		TP作成作業		修了を祝う会& TPプレゼンテーション	
4:00PM				メンターミーティング5		
5:00PM	TP作成作業	メンターミーティング2	個人メンタリング3			
6:00PM			TP作成作業	メンターミーティング6		
7:00PM	夕食・意見交換会(任意)		夕食・意見交換会(任意)			
8:00PM						
9:00PM						
10:00PM	TP作成作業 (任意)		TP作成作業 (任意)			
11:00PM	原稿提出締切 0:00		原稿提出締切 0:00			
0:00AM						

○平成24年度入学者選抜実務担当者協議会

日時 平成24年10月12日(金) 13:30~16:30(受付開始13:00)

会場 メルパルク東京(5階・瑞雲)

参加 62大学87名

次第

(1) 開会挨拶

第2委員会 木苗直秀委員長(静岡県立大学長)

(代理 静岡県立大学 嶋 照生 入試室長)

(2) 講演

「大学入学者選抜に係る動向」

講師:文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室 平野誠 室長

(3) 協議(全体協議及びグループ協議)

○全体協議

進行:静岡県立大学 嶋 照生 入試室長

① 入学後成績追跡調査について

- 提出大学：群馬県立県民健康科学大学
② 追加合格者の決定開始日の変更について
提出大学：埼玉県立大学

○グループ協議

1) 入試実施（以下、協議希望事項からの話題例）

- ・推薦入試における選抜方法等について
- ・入試問題作成プロセスについて
- ・入学者選抜方法研究の実施及び活用方法について 等

2) 入試広報

- ・入試広報と大学広報の連携（連動）について
- ・オープンキャンパスのあり方について
- ・入試広報の手法や内容について
- ・保護者等ターゲット別の広報について 等

(4) 各グループでの協議内容発表

[4] 入試関連発出文書等

- 平成 25 年度大学入試センター試験における成績の取扱い及び秋入学の検討状況について（照会）（5 月 31 日発出）
- 「公立大学の入学者選抜についての平成 26 年度実施要領・実施細目（案）」について（照会）（7 月 17 日発出）
- 平成 25 年度「学生募集要項」作成にあたっての共通の注意事項について（通知）（7 月 17 日発出）
- 「公立大学の入学者選抜についての平成 26 年度実施要領・実施細目」について（8 月 27 日発出）
- 平成 25 年度追加合格者情報交換事務について（通知）（10 月 22 日発出）
- 平成 26 年度入学者選抜の実施方式・日程等について（照会）（12 月 11 日発出）

7 第3委員会

[1] 委員会の開催経過

<p>○平成24年度第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成24年4月17日(火) 13:00~15:50 会場 メルパルク東京(3階・薔薇)</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長挨拶2 会務報告3 「IRコンソーシアム」参加についての説明会についての報告
<p>○平成24年度第2回第3委員会(拡大委員会) 日時:平成24年5月24日(火) 13:30~15:00 会場:学士会館(203号室) テーマ「自治体の大学政策と学長ガバナンスー地域再生の核としての大学モデルを巡って」 コーディネーター:浅田 尚紀 委員長(広島市立大学長) ゲストスピーカー:文部科学省 義本 博司 高等教育企画課長</p>
<p>○平成24年度第3回第3委員会(第1委員会と合同開催) 日時 平成24年7月4日(水) 14:00~15:00 場所 東京グランドホテル(3階・菊の間)</p> <ol style="list-style-type: none">1 大学改革実行プランについて2 要望事項について
<p>○平成24年度第1回理事懇談会、第4回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 平成24年10月10日(水) 13:00~16:30 場所 メルパルク東京(3階・薔薇)</p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 会長あいさつ(13:00~13:05)2 行政説明(13:05~14:00) 文部科学省 池田貴城 大学振興課長3 会務報告(14:10~14:30)<ul style="list-style-type: none">・平成24年度地区協議会・その他4 平成24年度学長会議について(14:30~16:00)<ul style="list-style-type: none">・特別シンポジウムについて・COCに関する検討について・認証評価制度に関する検討について5 その他(16:00~16:30)<ul style="list-style-type: none">・第2回高等教育改革フォーラムについて(10/11開催)・平成24年度入学者選抜実務担当者協議会について(10/12開催)・改正労働契約法説明会について(10/18開催)・事務局長等連絡協議会について(12/6開催)
<p>○平成24年度第4回理事会、第5回第1委員会・第2委員会・第3委員会合同会議 日時 平成25年2月7日(木) 13:00~16:00 場所 メルパルク東京(3階・牡丹)</p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none">1 合同会議(理事会及び第1委員会、第2委員会、第3委員会の合同会議)<ol style="list-style-type: none">(1) 会長あいさつ(13:00~13:10)(2) 文部科学省 行政説明(平成25年度予算案)(13:10~13:50) 池田貴城 大学振興課長2 理事会(14:00~16:00)<ol style="list-style-type: none">(1) 会務報告<ul style="list-style-type: none">・全体

- ・第1委員会
- ・第2委員会
- ・第3委員会
- (2) 公立大学の質保証に関する特別委員会の検討状況について
 - ・検討経緯と課題の所在について
 - ・評価ワークショップ（青森公立大学、滋賀県立大学）の結果について
 - ・今後の取組みについて
- (3) その他
 - ・規程等の整備について
 - ・事務局の移転について
 - ・公立大学学生ネットワーク（仮称）の創設について
 - ・会長候補者選考結果及び平成25・26年度地区協議会議長について（報告）

[2] 会議等への出席・関係団体への対応

- 大学ポートレート（仮称）準備委員会（浅田副会長：委員）
 - 第3回 11月14日（水）
- 大学ポートレート（仮称）準備委員会ワーキンググループ（中田事務局長：委員）
 - 第1回 5月31日（木） 第2回 7月31日（火） 第3回 9月18日（火）
 - 第4回 10月11日（木） 第5回 10月30日（火）

[3] 説明会

- 実態調査表の作成説明会（平成24年度公立大学協会担当者説明会）
 - 日時 平成24年6月25日（月）13：30～16：30
 - 会場 メルパルク東京（3階・牡丹）
 - 参加 67大学70名
 - 次第
 - (1) 平成24年度一般社団法人公立大学協会事業説明及び協会担当者へのお願いについて
 - 一般社団法人公立大学協会 中田 晃 事務局長
 - (2) 大学の情報公表に関する新たな取組みと公立大学実態調査との協同の取組み等について
 - ・行政説明
 - 文部科学省高等教育局大学振興課 津田 元洋 公立大学係長
 - ・大学の情報公表に関する取組みについて
 - 大学評価・学位授与機構 小笠原千寿 評価企画課長
 - ・公立大学実態調査表の作成について
- 改正労働契約法説明会
 - 日時 平成24年10月18日（木）13：30～15：30
 - 場所 東京グランドホテル（3階・桜の間）
 - 参加 56大学82名
 - 次第
 - (1) 改正労働契約法に関する説明
 - 説明 厚生労働省 労働条件政策課 澁谷 秀行 課長補佐
 - 文部科学省 大学振興課 中村 明雄 課長補佐
 - (2) 質疑応答
- 大学IRコンソーシアム参加説明会～教学IRシステムを活用した教育の質保証の取組み～（大阪会場）
 - 日時 平成25年2月18日（月）10：00～12：00
 - 場所 キャンパスポート大阪（ルームA）

(東京会場)

日時 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 10 : 00 ~ 12 : 00

場所 学士会館 (203 号室)

次第

(1) 大学 IR コンソーシアムについて

(2) 大阪府立大学の活用事例説明－IR システムによる分析の教育への展開－

(3) 会員校内部での運用について

(4) 質疑応答

8 セミナー等

[1] 協会主催セミナー

○平成 24 年度公立大学職員セミナー

日時 平成 24 年 7 月 18 日 (水) 10:30~19:30、19 日 (木) 9:00~17:00、
20 日 (金) 9:00~12:00

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加 46 大学 95 名

(1 日目) 7 月 18 日 (水)

時間	内容	場所
10:30 } 11:30	オリエンテーション 公立大学協会 中田 晃 事務局長	センター棟102号室
11:30 } 12:30	講演「公立大学の職員に期待すること」 愛知県立大学 春日井 隆司 学術情報部長	
12:30 } 13:30	(休憩)	
13:30 } 17:30	A. 大学を知るための認証評価体験ワークショップ(初任者) コーディネーター/中田晃(公立大学協会事務局長) アシスタント/斉藤亜由美(公立大学協会)	センター棟102号室
	B. 業務分野別課題解決ワークショップ	
	事務改善 コーディネーター/高谷 美穂(滋賀県立大学) 事例発表者/宮林 常崇(首都大学東京)	センター棟401号室
	入学者選抜 コーディネーター及び事例発表者/ 岡田 卓哉(愛知県立大学) 教務・学生支援 コーディネーター及び事例発表者/ 関屋 一博(岩手県立大学)	センター棟402号室
	外部資金獲得 コーディネーター及び事例発表者/ 春日井 隆司(愛知県立大学) 地域連携 コーディネーター/松岡 桂次郎(北九州市立大学) 事例発表者/春日井 隆司(愛知県立大学)	センター棟409号室
18:00 } 19:30	情報交換会	国際交流棟 レセプションルーム

(2 日目) 7 月 19 日 (木)

時間	内容	場所
8:55 } 9:00	事務連絡	センター棟102号室
9:00 } 10:10	講演「公立大学と大学職員のありかた」 公立大学協会 奥野 武俊 会長(大阪府立大学長)	
10:30 }	個別課題交流会	

12:00	事務改善 コーディネーター／高谷 美穂(滋賀県立大学)	センター棟102号室
	入学者選抜 コーディネーター／岡田 卓哉(愛知県立大学)	
	外部資金獲得 コーディネーター／春日井 隆司(愛知県立大学)	センター棟402号室
	地域連携 コーディネーター／松岡 桂次郎(北九州市立大学)	
	教務・学生支援 コーディネーター／関屋 一博(岩手県立大学)	センター棟401号室
12:00 } 13:00	(休憩)	
13:00 } 14:00	講演「大学改革の動向を踏まえた今後の公立大学について」 文部科学省 田頭 吉一 大学振興課課長補佐	センター棟102号室
14:00 } 14:10	大学の質的転換を考えるワークショップ①(趣旨説明) 公立大学協会 杉浦 洋典	センター棟102号室
	大学の質的転換を考えるワークショップ②(グループ作業)	
14:25 } 17:00	A～Eグループ コーディネーター／関屋 一博(岩手県立大学) 齊藤 亜由美(公立大学協会)	センター棟102号室
	F～Jグループ コーディネーター／春日井 隆司(愛知県立大学) 高谷 美穂(滋賀県立大学)	センター棟401号室
	K～Oグループ コーディネーター／岡田 卓哉(愛知県立大学) 松岡 桂次郎(北九州市立大学)	センター棟402号室

(3日目) 7月20日(金)

時間	内容	場所
8:55 } 9:00	事務連絡	A～Eグループ センター棟102号室
9:00 } 10:00	大学の質的転換を考えるワークショップ③(発表)	F～Jグループ センター棟401号室
10:00 } 10:20	大学の質的転換を考えるワークショップ④(投票)	N～Oグループ センター棟402号室
10:35 } 11:30	大学の質的転換を考えるワークショップ⑤ (優秀グループによる発表)	センター棟102号室
11:30 } 12:00	全体 振り返り	センター棟102号室

○平成24年度公立大学法人会計セミナー<プレセミナー>

日時 8月7日(火)9:00～12:00

場所 メルパルク東京(5階・瑞雲)

参加 44大学95名

8月7日(火)

公立大学法人会計事務の概要

講師：名古屋市立大学 内山達雄 財務課経理係長
名古屋市立大学 中井淳子 財務課経理係主事

○平成24年度公立大学法人会計セミナー<セミナーⅠ>

日時 8月7日(火) 13:00~8日(水) 16:30

場所 メルパルク東京(5階・瑞雲)

参加 54大学 125名

8月7日(火)

(1) 貸借対照表

講師：有限責任監査法人トーマツ 日野克紀 公認会計士

(2) 損益計算書

講師：新日本有限責任監査法人 唐澤正幸 公認会計士

(情報交換会 会場：3階・百合)

8月8日(水)

(3) 行政サービス実施コスト計算書/計算書作成演習(グループワーク)

講師：新日本有限責任監査法人 栗井浩史 公認会計士

(4) 地方独立行政法人会計基準の改訂

講師：有限責任監査法人トーマツ 谷沢実佐子 公認会計士

(5) キャッシュ・フロー計算書

講師：有限責任あずさ監査法人 久保直生 公認会計士

(6) キャッシュ・フロー計算書作成演習(グループワーク)

講師：有限責任あずさ監査法人 相宮秀紀 公認会計士

○平成24年度公立大学法人会計セミナー<セミナーⅡ>

日時 8月9日(木) 9:00~16:30

場所 メルパルク東京(5階・瑞雲)

参加 56大学 87名

(1) 決算書の読み方

講師：有限責任あずさ監査法人 寺澤直子 公認会計士

(2) 中期計画最終年度の処理

講師：有限責任監査法人トーマツ 日野克紀 公認会計士

(3) 利益分析と資金残高分析

講師：有限責任あずさ監査法人 大立目克哉 公認会計士

(4) (2会場に分かれて協議、講演)

(A) 協議(5階・瑞雲)

(B) 公立大学法人の財務会計システムの現状について(5階・華巖)

講師：有限責任監査法人トーマツ 石川久紀 公認情報システム監査人

[2] セミナー等への講師派遣

○高崎経済大学 学内研修会 4月25日(水) 講師：中田 晃 事務局長

○宮城大学 学内研修会 8月28日(火) 講師：中田 晃 事務局長

○東海・北陸地区協議会 職員研修会 9月28日(金) 講師：SD 作業部会 春日井隆司
主査(愛知県立大学)

○青森県立保健大学 講演 10月17日(水) 講師：中田 晃 事務局長

○公立大学法人等運営事務研究会 11月1日(木)~2日(金) 講師：中田 晃 事務局長

9 各種調査・照会・報告書等

[1] 公立大学実態調査・公立大学便覧

○平成 24 年度公立大学実態調査表

1 実態調査表の作成説明会（平成 24 年度公立大学協会担当者説明会）

日時 平成 24 年 6 月 25 日（月）13：30～16：30

会場 メルパルク東京（3 階・牡丹）

次第

(1) 平成 24 年度一般社団法人公立大学協会事業説明及び協会担当者へのお願いについて

一般社団法人公立大学協会 中田 晃 事務局長

(2) 大学の情報公表に関する新たな取組みと公立大学実態調査との協同の取組み等について

・行政説明

文部科学省高等教育局大学振興課 津田 元洋 公立大学係長

・大学の情報公表に関する取組みについて

大学評価・学位授与機構 小笠原千寿 評価企画課長

・公立大学実態調査表の作成について

2 実態調査表の作成依頼（平成 24 年 6 月 26 日付、8 月 10 日締切）

3 実態調査表の校正依頼（平成 24 年 9 月 19 日発信、10 月 5 日締切）

4 平成 24 年度実態調査表の送付（平成 24 年 11 月 7 日）

5 目次

・大学編

組織（学生・教員・職員数等調）、大学経費調、図書数調、科学研究費補助金等調、入学志願者・入学者数等調、卒業生の就職状況調、施設関係調、施設（寄宿舎等）調、その他

・大学附属病院編

概要、病床数及び患者数調、病院収入調、物件費調、臨時費調、校地・建物の現況調、附属病院教職員数調、臨床研修医等調

・公立大学法人編

法人事務局等所属の職員数

○公立大学便覧（平成 24 年 11 月 16 日校正依頼、11 月 30 日締切、12 月 25 日発送）

目次

1 公立大学の概要

2 公立大学一覧

3 公立大学設置学部一覧

4 公立大学大学院研究科一覧

5 (1) 年表・公立大学の設置動向

(2) 公立大学設置の推移

(3) 公立大学法人一覧

(4) 公立大学一覧（都道府県別）

(5) 公立大学一覧（設置種別）

6 教員 1 人当りの学生数

7 公立大学の経費規模

(1) 大学経費の総額

(2) 大学経費と設置団体財政規模との比較

(3) 大学予算額と設置団体教育費との比較

8 公立大学の経常費

(1) 経常費の総額

(2) 経常費に占める人件費の割合（大学関係）

- (3) 経常費に占める人件費の割合（附属病院関係を含む）
- (4) 学生1人当りの経常費（大学関係）
- (5) 学生1人当りの経常費（附属病院関係を含む）
- (6) 学部・研究科別学生1人当りの経常費
- (7) 物件費の内訳（大学関係）
- (8) 学生1人当りの学生経費

9 大学別臨時費

10 公立大学の財源

- (1) 大学経常費に占める大学収入（自主財源）の割合【参考】
- (2) 学生1人当りの大学収入額
- (3) 学生1人当り経常費に占める大学収入額の割合

全国の公立大学の所在地

[2] 協会から発信した照会

発信日 締切日	件名 調査項目	結果報告
発 H24/05/14 締 H24/06/04	文部科学省「学士課程教育の現状と課題に関するアンケート調査」の情報提供について（お願い） <hr/> 【学長用】 1 貴学の学生の学修について（学修成果・時間、課題、全学での把握） 2 貴学の学士課程教育について（学位授与の方針、学士課程教育の充実のための取組・課題、教員の教育力を高めるための取組） 3 主体的な学びを確立させる学士課程教育の構築のための仕組みについて（授業の改善、全学的な教学マネジメント、学外からの支援、国に対する要望） 4 学長ご自身について（学長就任年数、大学教員としての勤務年数、任期、年齢、性別） 【学部長用】 1 貴学部の学生の学修について（学修成果・時間、課題、学部独自での把握） 2 貴学部の学士課程教育について（学位授与の方針、学士課程教育の充実のための取組・課題、教員の教育力を高めるための取組） 3 主体的な学びを確立させる学士課程教育の構築のための仕組みについて（授業の改善、学部の教学マネジメント、学外からの支援、国に対する要望） 4 学部長ご自身についてお答えください。（学部長就任年数、大学教員としての勤務年数、任期、年齢、性別）	HP 掲載
発 H24/08/21 締 H24/08/29	公立大学の COC 機能に関する取組事例の資料提供について（依頼） <hr/> 各公立大学において、地方自治体等と連携しながら、地域課題の解決や地域人材の育成等に大学として組織的に取り組む事例	会議資料 HP 掲載
発 H24/08/29 締 H24/09/07	公立大学における男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの推進状況に関するアンケート調査について（依頼） <hr/> 1 男女共同参画の推進体制について (1) 男女共同参画推進の基本方針、宣言等の作成、提示 (2) 室、委員会、ワーキング・グループ等の検討推進体制の設置・充実 2 女性教員・研究者の拡大について (1) 採用時における積極的是正措置（ポジティブアクション）の実施 (2) 昇任・給与・研修等の男女機会均等の推進 (3) 大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大 (4) 女子学生や若手女性研究者、女子中高生など次世代研究者へのロールモデルの提供 (5) 女性に多い非常勤講師の待遇の改善の促進等 3 就業環境の整備・充実について (1) 育児・介護等との両立を支援するための就労支援制度の整備・充実	HP 掲載

	<p>(2) 育児・介護等との両立を支援するための研究継続支援制度の整備・充実</p> <p>(3) 育児休業等からの復帰を容易にすることを含めた施設設備の設置・充実</p> <p>(4) 女性研究者が不安や悩みを相談できるようなメンタル的なサポート体制の整備・充実</p> <p>4 意識啓発の推進について</p> <p>(1) 男女の固定的な性別役割分業意識の解消や職場慣行の見直しと改善</p> <p>(2) 男女共同参画を推進する諸制度の学内外への積極的広報</p> <p>(3) 男女共同参画に係る教育研究の推進と啓発セミナー・シンポジウム等の開催</p> <p>(4) 両立支援制度（育児・介護休業等）の活用可能な雰囲気醸成</p> <p>5 男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス推進に関して、現在大学として特に積極的に取り組んでいる事業</p> <p>6 男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス推進に関して、今後自らの大学が特に重点的に取り組むべきと考える課題</p> <p>7 男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス推進に関して、今後公立大学協会に特に積極的に取り組んでほしい事業や課題</p>	
発 H24/09/11 締 H24/09/25	<p>入学者選抜実務担当者協議会事前調査について（お願い）</p> <hr/> <p>1 平成 27 年度センター試験の利用教科・科目について</p> <p>2 推薦入試における地域枠の設定について</p> <p>3 受験者及び合格者の平均点・最高点・最低点の公開について</p> <p>4 追加合格の状況について</p> <p>5 入学者に対する成績追跡調査について</p> <p>6 入学者選抜方法に関する検証及び改善について</p> <p>7 入学試験問題作成者への手当について</p>	会議資料 HP 掲載
発 H24/10/29 締 H24/11/05	<p>創造学園大学に在学する学生の受入れについて（照会）</p> <hr/> <p>1 貴学では、創造学園大学の学生の転学を受け入れる可能性はありますか。学内の検討を踏まえ、記入下さい。</p> <p>2 所要諸経費関係</p> <p>3 転学した学生の支援が可能な学内独自の奨学金の有無</p> <p>4 情報の提供について</p>	文部科学省 へ情報提供
発 H24/11/13 締 H24/11/22	<p>平成 24 年度事務局長等連絡協議会に関する事前照会について（お願い）</p> <hr/> <p>1 外部研究費の間接経費について</p> <p>(1) 外部研究費から間接経費に充てている割合についてご記入ください。</p> <p>(2) 間接経費に係る教員へのインセンティブの必要性や効果についてどのように考え、具体的にどのような対応をとっているか、ご記入ください。</p> <p>(3) 国等からの受託研究費や助成金等の外部研究費のうち、間接経費への手当がない事業について、事務局における人</p>	会議資料 HP 掲載

	<p>件費、光熱費等の間接経費をどのように賄っているか、ご記入ください。</p> <p>2 学生の安否確認システムの構築について</p> <p>(1) 貴大学における学生の安否確認の方法、課題と感じていることをご教示ください。</p> <p>(2) 新たな安否確認システムの検討状況をご記入ください。</p> <p>3 教員の定数管理、採用について</p> <p>(1) 定数管理について</p> <p>(2) 教員の採用について</p> <p>4 留学生寮、学生寮について</p> <p>(1) 留学生寮、学生寮を所有している場合、留学生と日本人学生の振り分けはどのように行なっていますか。</p> <p>(2) 入寮生を火災保険等に加入状況について、ご教示ください。</p> <p>(3) 入居の際、保証金や管理費を徴収していますか。その金額は何を基準にしていますか。</p> <p>(4) 入寮生が部屋を清潔に保つための指導はどのようにしていますか。</p> <p>(5) 寮は家具、家電及び寝具付きですか。その場合、別途使用料等を徴収していますか。</p>	
<p>発 H24/01/08 縮 H24/02/04</p>	<p>平成 24 年度公立大学法人評価に関するアンケートについて（照会）</p> <hr/> <p>1 法人・大学内の評価の体制とスケジュールについて</p> <p>(1) 評価に対応するための法人内の組織と作業の状況について表に記入してください。</p> <p>(2) 評価のためのスケジュール</p> <p>2 法人評価委員会の評価について</p> <p>(1) 評価方法</p> <p>(2) 評価項目数（中期計画及び年度計画等に対する評価項目数）</p> <p>(3) 評価委員会のスケジュール</p> <p>3 評価に関する課題等（自由記述）</p>	<p>会議資料 HP 掲載</p>
<p>発 H13/02/21</p>	<p>公立大学法人情報</p> <hr/> <p>1 設立年月日、設立団体名、事務所の所在地</p> <p>2 設置校の内容（学校名、所在地、学部・研究科名、入学定員、収容定員）</p> <p>3 業務の範囲</p> <p>4 役員の氏名、所属・職、担当、学外/学内、常勤/非常勤、現任期</p> <p>5 役員会等設置の有無、審議事項等</p> <p>6 経営審議機関の委員（氏名、所属・職、専門等、学外/学内、常勤/非常勤、現任期）、審議事項</p> <p>7 教育研究審議機関の委員（氏名、所属・職、専門等、学外/学内、常勤/非常勤、現任期）、審議事項</p> <p>8 評価委員会（氏名、現職）</p>	<p>会議資料 HP 掲載</p>

[3] メーリングリストによる照会

	ML 番号	調査日	発信大学	調査内容 (件名)
1	[1116]	2012年4月23日	茨城県立医療大学	学校事務システムに関する調査について (依頼)
2	[1117]	2012年4月27日	福井県立大学	学生食堂の運営状況に係る調査について (照会)
3	[1118]	2012年5月9日	岐阜県立看護大学	看護系の学部・学科を有する大学における海外の諸大学・研究機関との国際交流状況について (照会)
4	[1120]	2012年5月11日	下関市立大学	各種制度の導入状況について (依頼) [学習ポートフォリオ、出欠管理システム、教員データベース]
5	[1121]	2012年5月14日	富山県立大学	大学教務関連の実態調査について [GPA 制度、転学部 (科) 等、学生の家庭学習の確保]
6	[1122]	2012年5月18日	青森公立大学	名誉教授の称号授与に関する調査について
7	[1123]	2012年5月22日	札幌市立大学	後援会費・同窓会費に係る大学法人会計上の取り扱いについて (照会)
8	[1124]	2012年5月23日	宮城大学	新カリキュラムの遡及適用等について (照会)
9	[1125]	2012年6月1日	県立広島大学	契約・経理及び決算業務に係る各担当者向けの業務マニュアル等について (依頼)
10	[1127]	2012年6月11日	三重県立看護大学	教員の初任給決定の制度・取扱いに関する調査について (照会)
11	[1128]	2012年6月14日	広島市立大学	国際交流に係る危機管理マニュアルについて
12	[1130]	2012年6月21日	熊本県立大学	出版助成制度及び徴収不能引当金の取り扱いについて (照会)
13	[1131]	2012年6月25日	札幌市立大学	広報戦略・ソーシャルメディアの活用状況について (照会)
14	[00002]	2012年6月27日	大阪府立大学	同一年度における再履修について (照会)
15	[00006]	2012年6月29日	茨城県立医療大学	平成 24 年度入学試験及び専攻科設置状況に関する調査
16	[00014]	2012年7月3日	横浜市立大学	業者向け定期支払いに関する調査について
17	[00015]	2012年7月4日	県立広島大学	教員業績評価の人事・給与等への反映に係る調査について
18	[00019]	2012年7月18日	前橋工科大学	大学院学生に対する経済的な支援に関する調査について (照会)
19	[00021]	2012年7月24日	岩手県立大学	情報システム (システム・サービス) の導入状況について
20	[00027]	2012年8月9日	滋賀県立大学	【照会】 研究支援制度等の状況について
21	[00028]	2012年8月9日	福岡県立大学	【調査依頼】 大学院生支援に関する調査について
22	[00029]	2012年8月15日	高知県立大学	就職支援に係る事務局体制について (照会)
23	[00031]	2012年8月20日	神奈川県立保健福祉大学	祝日に伴う授業振替等に関する調査について (照会)
24	[00033]	2012年8月21日	秋田県立大学	【照会】 同窓会の体制と支援等に関する調査について
25	[00036]	2012年8月24日	広島市立大学	【照会】 設立団体出資財産に係る取扱いについて
26	[00038]	2012年8月24日	宮崎公立大学	【調査依頼】 学生対象の調査について
27	[00040]	2012年8月27日	岩手県立大学	【照会】 学生による授業評価調査に係る調査について
28	[00041]	2012年8月29日	札幌医科大学	【調査依頼】 学生証の様式と運用についての調査について
29	[00046]	2012年9月19日	埼玉県立大学	看護系の学部・学科を有する大学における非常勤実習助手の給与・手当に係る調査について (照会)
30	[00050]	2012年9月21日	兵庫県立大学	教務システム・学生支援システムに関する調査について (照会)
31	[00055]	2012年10月5日	長崎県公立大学法人	人事異動時期に係る調査について (照会)
32	[00056]	2012年10月5日	福井県立大学	教員の昇給および昇任数について (照会)
33	[00057]	2012年10月19日	岩手県立大学	【照会】 法人採用事務局職員の処遇等に関する調査について
34	[00058]	2012年10月22日	富山県立大学	カウンセリングの実施体制調査について (照会)
35	[00060]	2012年10月25日	埼玉県立大学	特任教員制度に係る調査について (照会)

36	[00063]	2012年11月1日	札幌市立大学	大学の国際化に関する方針の調査について（依頼）
37	[00064]	2012年11月2日	香川県立保健医療大学	入学前教育に関する調査（照会）
38	[00065]	2012年11月5日	長崎県立大学	人権侵害、ハラスメント問題対策に関する制度等に係る調査について（照会）
39	[00066]	2012年11月5日	岐阜薬科大学	入学料、入学検定料について（照会）
40	[00068]	2012年11月8日	県立広島大学	【照会】サテライトキャンパス業務に係る給与等調査について
41	[00070]	2012年11月14日	長崎県立大学	新入生セミナーガイドブックに関する調査について
42	[00072]	2012年11月21日	大阪市立大学	【照会】単位数・英文証明書の状況に関する調査について
43	[00074]	2012年11月29日	熊本県立大学	【調査依頼】全学共通（教養）科目の状況について
44	[00075]	2012年12月4日	札幌市立大学	出張の取扱いに関する調査について（依頼）
45	[00076]	2012年12月4日	島根県立大学	（公立大学法人あて）退職手当制度改正について（照会）
46	[00077]	2012年12月5日	前橋工科大学	公立大学法人化後の職員定数の管理等に関する調査について（照会）
47	[00078]	2012年12月5日	高崎経済大学	法人採用事務職員の他大学等との人事交流に関する調査について（照会）
48	[00081]	2012年12月11日	京都府立大学	大学院における社会人受入（促進）状況について（照会）
49	[00083]	2013年1月4日	石川県公立大学法人	設立団体からの施設・備品整備費補助金について（照会）
50	[00084]	2013年1月9日	岡山県立大学	包括協定に関する調査について（照会）
51	[00086]	2013年1月10日	札幌市立大学	授業料減免制度に関する調査について（照会）
52	[00089]	2013年1月18日	長野県看護大学	看護系学生の臨地実習施設への移動方法等に関する調査について（照会）
53	[00092]	2013年1月24日	福井県立大学	教員評価に関する委員会について（照会）
54	[00096]	2013年3月7日	埼玉県立大	看護学科等で実施する学外臨地実習の状況について

調査票・集計結果はホームページ（関係者専用）にも掲載 <http://member.kodaikyo.org/ml/index.php>

[4] 報告書

- 学長会議特別シンポジウム「被災地支援や地域防災に果たす大学と学生の役割」
平成24年11月8日（木） 15:30～17:00 静岡県立大学 小講堂
（報告書 URL）http://member.kodaikyo.org/h25/24gakuchokaigi_sinpo.pdf
※プログラムの詳細は P4 に掲載

○高等教育改革フォーラム

- ・第1回 テーマ：「公立大学にふさわしい認証評価のあり方について」
平成24年7月3日（火） 14:00～17:00 東京グランドホテル（3階・桜）
- ・第2回 テーマ：「公立大学にふさわしい認証評価の在り方
—法人評価との一体的運用を視野に一」
平成24年10月11日（木） 10:30～16:30 メルパルク東京（5階・瑞雲）
- ・第3回 テーマ：「大学ポートレートと認証評価」
平成24年12月7日（金） 14:00～17:00 東京グランドホテル（3階・桜）
- ・第4回 テーマ：「公立大学の地域貢献・地域連携機能の充実とその評価
—2つの公立大学における評価ワークショップの結果を踏まえ—」
平成25年2月22日（金） 13:30～17:00 学士会館（201号室）
（報告書 URL）http://member.kodaikyo.org/h25/24forum_houkokusho.pdf
※プログラムの詳細は P25 に記載

10 各種情報提供・広報等

[1] 情報提供（公立大学2012）



現代システム科学域

工学域

生命環境科学域

地域保健科学域

工学研究科

生命環境科学研究科

理学系研究科

経済学研究科

人間社会学研究科

看護学研究科

総合キャリア・マネジメント研究科

大阪府立大学 Osaka Prefecture University

所在地 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 番1号
交通 南海高野線白鷺駅から徒歩5分
TEL 072-252-1161 FAX 072-254-9129
設立年 2005年
設置者 公立大学法人大阪府立大学(大阪府)
学生数 8,132名 教員数 708名 職員数 170名

高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

HISTORY & MISSION
大阪府立大学は、2005年大阪府立大学・大阪女子大学・大阪府立看護大学の府立3大学を再編統合・法人化して公立大学法人大阪府立大学として新たにスタートしました。そのルーツは、生命環境科学部獣医学科の跡となる大阪獣医学講習所が1883年(明治16年)に設置されたところまで遡ることができます。2013年には130年目を迎えますが、これを「創基130年」と呼んでいます。大学としては、戦後の新しい教育制度のもとに、大阪府立浪速大学、大阪女子大学として1949年に発足しました。その後、様々な変遷を経て、現在の形となりました。開学以降、常に時代を先導する教育・研究拠点を目指しながら発展してきました。高い志と先取の気風、実学の伝統は今に継承されており、次世代の社会を牽引し、世界を舞台に活躍できる人材を育成していきます。

PROFILE
●2012年4月より、これまでの学部より広い学問領域で区分した4学域・13学類体制による新しい学士課程教育をスタートします。これによって、複雑な現代社会の様々な要請に応えられる人材の育成を目指します。
●学生が達成すべき学習目標を定めて教育効果を上げ、自らの学びを振り返るために学生ポートフォリオなどをスタートします。
●2011年から同法人が運営する高専を通して、「ものづくり」のための高度技術者養成を推進します。

TOPICS
「創基130年」を記念した事業を通して、これまでの歴史と伝統を次代に継承するための礎を確かなものとし、世界水準の高い教育・研究の実現と、さらなる社会貢献に努めます。

基本情報（所在地、交通、TEL、FAX、設立年、設置者、学生数、教員数、職員数）、学部、学長名・専門分野、HISTORY&MISSION、PROFILE、TOPICSを大学ごとに掲載

[2] 広報

○ホームページでの情報発信 (<http://www.kodaikyoo.org/>)

<各種情報>

- ・公立大学協会が発信する記事…協会が主催する会議等の情報
- ・大学一般の記事 …大学行政関連の情報（審議会等会議の情報等）
- ・公立大学の記事 …会員校からのお知らせや会員校が主催するイベント等
- ・その他の記事 …上記3項目に当てはまらない情報

<公立大学協会の基本情報>

- ・公立大学協会の組織と活動 …協会の目的、組織図、役員等
- ・公立大学の入試 …公立大学の入試に関する情報
- ・東日本大震災への対応 …各公立大学及び協会の東日本大震災に関する取組等

<公立大学情報>

- ・ポートレート …「公立大学2012」等
- ・データベース …公立大学の 大学基本情報及び公立大学便覧
- ・ファクトブック …公立大学ファクトブック 2011
- ・教育情報の公表（法定事項）…学校教育法施行規則で公表が義務付けられている情報についての、各公立大学の該当ページへのリンク集

○ニューズレター

(1) 平成24年4月27日発行 Vol.7 No.1

- ・木苗副会長メッセージ
- ・東日本大震災ボランティア「大学生の参加経験に関するアンケート」調査結果

47

- ・平成 23 年度公立大学協会高等教育改革フォーラム開催報告
 - ・「IR コンソーシアム」参加についての説明会開催報告
 - ・中央教育審議会教育振興基本計画部会ヒアリングへの対応
 - ・「平成 24 年度大学入試センター試験に関する検証委員会」ヒアリングへの対応
 - ・公立大学 SD 作業部会による報告書
 - ・公立大学協会の主な活動の記録（H24.1.1～H24.3.31）
- (2) 平成 24 年 8 月 28 日発行 Vol.7 No.2
- ・浅田副会長メッセージ
 - ・一般社団法人公立大学協会定時総会報告
 - ・新任学長等懇談会報告
 - ・平成 24 年度公立大学職員セミナー報告
 - ・新学長の紹介
 - ・新会員大学紹介（鳥取環境大学）
 - ・公立大学の主な活動の記録（H24.4.1～H24.7.31）
- (3) 平成 25 年 2 月 22 日発行 Vol.7 No.3
- ・近藤副会長メッセージ
 - ・第 2 回・第 3 回高等教育改革フォーラム開催報告
 - ・平成 24 年度学長会議報告
 - ・各種会議報告（第 2 回副学長等協議会・事務局長等連絡協議会・改正労働契約法説明会・入学者選抜実務担当者協議会）
 - ・各地区協議会概要
 - ・平成 24 年度公立大学法人会計セミナー報告
 - ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ報告
 - ・公立大学協会の主な活動の記録（H24.8.1～H24.12.31）

1 1 意見・要望等

- (1) (平成 24 年 6 月 4 日) 「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について (審議のまとめ) に対する意見
- (2) (平成 24 年 6 月 29 日) 中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議まとめ」に関する意見
- (3) (平成 24 年 8 月 29 日) 公立大学に関する地方交付税措置についての要望
- (4) (平成 24 年 8 月 29 日) 「大学改革実行プラン」に関する要望
- (5) (平成 24 年 8 月 29 日) 大学分科会の構成員に関する要望
- (6) (平成 24 年 8 月 31 日) 公立大学に関する地方交付税措置についての要望
- (7) 文部科学省への公立大学 COC 事例についての説明
(平成 24 年 9 月 24 日) 常盤豊審議官・池田貴城大学振興課長
(平成 24 年 10 月 2 日) 大学改革推進室 松坂浩史室長・神宮孝治課長補佐
- (8) (平成 24 年 9 月 24 日) 第 2 期教育振興基本計画に関するヒアリング
発表者：奥野 武俊 会長
- (9) (平成 24 年 10 月 24 日) 設置基準への意見 (全国公立医科・歯科大学長会)
- (10) (平成 24 年 11 月 28 日) 公立大学の設置プロセスと質保証の課題について(コメント)

「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議のまとめ）に対する意見について

標記の件につきまして、会員校より下記及び別紙のとおり意見がございましたので、提出いたします。

1 全般に対する意見

- ① 様々な分野において秀でた知識や能力、資質を有する若者を教職に迎え入れるとともに、教職の高度化・専門化に対応するためには、教職課程を教員養成系大学や教職大学院に限定することなく、一般の国公私立大学に開かれたものとする、教員養成における「開放制」の原則を貫くことが肝要である。
- ② 教員採用時においては、教員養成・採用の具体的な実態に即して、「基礎免許状（仮称）」を授与された若者を積極的に採用するとともに、「学び続ける教員像」の確立を促進する上でも教職経験や教育課題を踏まえた継続性のある実践的な現職教育（研修）をいっそう充実させることが肝要である。
- ③ 教員を高度専門職業人として明確に位置づけるからには、その教育課程は、大学および大学院での学修・研究と不可分に統一されたものでなくてはならない。教職課程の構造および内容については、必修部分をできるかぎり大綱的なものにとどめ、大学ごとに个性的で多様な教職課程を実現するための自由が保障されなければならない。

※ なお、「中・高等学校教諭については、その多くが教員養成を主たる目的としない学科等出身者で占められていることに留意する必要がある」（11 頁）の指摘を十分に踏まえること。

2 「教職実践演習」の位置づけについて

「修士レベル化の前提として、学部段階で、教職実践演習を中心に、必要な資質能力の育成を徹底する」（12 頁）とされているが、教職実践演習が設定されている 4 回生後期は、卒業研究に力を集中することが求められる時期にあたる。この時期における教職の「資質育成の徹底」は、教員養成系大学、教育学部等で学んでいる学生の場合以外、専門研究との両立が難しい状況となる。「修士レベル化」が前提とされているということは、専門研究も修士課程を展望したものとして学部の卒業研究よりさらにハイレベルなものが求められているので、この両立はより厳しいものとなることが予想される。

教育実習を終えた養成教育の総仕上げとしての「教職実践演習」の意義は認め

られるが、これを「中心に……育成を徹底する」という位置づけ（「教職実践演習」に、養成教育の総まとめ以上の比重をもたせること）には、教員養成系大学や教育学部以外では、無理があると思われる。

以上

中教審「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」(審議のまとめ)へのコメント

都留文科大学

はじめに

(1) 教員の資質能力を包括的、総合的に把握する観点は重要である

「教職生活の全体を通じた、教員の資質能力の総合的な向上方策について(審議のまとめ)」という表現は、教員の資質能力を包括的、総合的なものととらえようとする観点を示しており、重要と考える。教員、とくに小学校の教員が子どもに与える影響は全人格的なものであるから、教員の資質能力も個別の教育技術や知識の習得に矮小化されるべきではない。

(2) 学校を魅力ある職場とする支援に期待する

力量あるベテラン教員たちからは、「子どもに笑顔を見せられなくなったら教員を辞める」といった言葉がしばしば聞かれる。教員の笑顔は、技術的な能力に劣らず、子どもたちにとって大切な意味を持ち、教員の資質にもかかわっている。その観点から、Ⅲ-7「学校が魅力ある職場となるための支援」の趣旨に期待する。それが資質向上に向けた教員の自発的努力を促し、求められる人材育成にもつながるものとする。

I-1 現状認識について

(1) 学校現場における足元の困難をより重視すべきである

書かれている内容の範囲で異論はないが、学校現場が置かれている足元の困難についての現状認識がやや薄いように思われる。「学級崩壊」現象、学習のスタートラインに立てない子どもの増加、不安定な親の理不尽な要求への対処等、教員が取り組まなければならない課題が山積しており、そのかなりの部分は一人の教員、あるいは一つの学校だけで解決できる問題ではない。

(2) 若手教員の悩みに対応し、資質向上につなぐ方策が求められる

こうした現状において、実践力を重視するあまり、新任教員に完璧な力をもって教壇に立てと要求することには無理があり、近年の若手教員の離職、自殺問題にもつながっている。教職を目指して学び続けてきた、感受性豊かな素質ある若手教員の離職を防ぎ、学校教育を担う中核へと育てていくためにも、教員の悩みや困難への対応を足場とした資質向上策が重視されるべきである。

I-2 教員に求められる資質能力について

(1) 個別の技能以上に、コアとなる資質能力を育てることが肝要である

経験知と暗黙知の一般化の重要性が指摘されているが、この点はこれまでになく特徴として評価できる。特に暗黙知は人格との結びつきが強いから、教員の資質能力は、種々の技能や知識の集積であると同時に、その教員の中心軸となるも

のの見方、教育観と結びついて機能する。したがって、個別の資質能力を列挙するにとどまらず、コアとなる資質能力を明確にし、それを理論と実践の往還によって育てる必要がある。

(2) 子どもや親を深く理解し可能性を引き出す資質能力

そして、先に述べた今日の現場の状況においてコアとして求められるのは、子ども、さらに親を、彼らが置かれた環境の中で深く理解し、素人目には問題行動にしか見えない子どもの行動に内在している力をプラスの方向へ引き出せるような教科指導、生徒指導を展開できる資質能力であろう。

(3) チームワークを組み、連携の中心となる資質能力

とはいえ、困難の解決を個々の教員の力量のみに期待できるほど現状は甘くはないから、同僚とチームワークを組み、様々な発達援助職や地域、家庭と連携することが不可欠になっている。この連携において、子どもに日々最も直接的に向き合う立場として中心的な役割を果たすのも教員であるから、この点の資質能力も重視する必要がある。

(4) 管理職にも子ども理解と「理論と実践の往還」の能力が求められる

こうした資質能力は、「総合的な人間力」といったものには解消されず、理論と実践の往還によって省察を繰り返し、常に更新させるべき知的な性質のものである。校長についても、マネジメント力が重視されていること自体に異論はないが、「学級崩壊」現象への対処で管理職の能力差が如実に表れるように、子どもの現状を実践的・学問的に深く理解し、それに対する手立てを的確に判断することができる現場研究者としての資質能力を備えた校長でなければ、リーダーシップを発揮する前提となる教員たちの信頼を獲得することは難しい。

(5) 社会人としての資質能力を向上させる条件の保障が求められる

教員の資質能力を包括的・総合的なものととらえる場合、教員自身が社会人として尊敬される生き方ができるかどうか問われる。たとえば子どもたちに対して公平・平等な扱いができるか、社会問題に対して積極的に解決しようとしているかといったことを、子どもたちは授業で学びながら敏感に感じ取る。そのため、教員が社会人として有意義な活動ができる条件の保障も資質能力の向上に深くかわると考える。

I-3 取り組むべき課題について

(1) 「学び続ける教員像」を現場に根ざしたものとして構想する

「学び続ける教員像」の確立、「理論と実践の往還」という課題提起に賛成する。しかし、「学び続ける」ことが現場研究から離れた形態での研修を中心とするものとして構想されるなら、十全な「理論と実践の往還」とはならず、理論を実践に下ろしていくという方向性が強くなってしまう。「審議のまとめ」はややその傾きが強いように感じられる。

(2) 日常的に「理論と実践の往還」を行う現場研究者としての教員

もちろん従来型の研修にも意味はあるが、「理論と実践の往還」を日常的に行い、現場の複雑な状況への臨機応変な対処や一人ひとりの学びに対応する高度で柔軟な教育を可能にするには、教員自身が自分の実践や学校のあり方を研究的に分析できるという、現場研究者としての資質能力を持つことが求められる。その観点から、Ⅲ-3(1)「現職研修等の改善」も考える必要がある。それは「自らの実践を理論に基づき振り返る」というだけでなく、実践を分析することを通じて理論を生産するというベクトルも含む必要がある。

Ⅱ-1 教員養成改革の方向性

(1) 地域・近隣の学校との日常的な研究連携をベースにした養成

学校を大学院の実習・学修の拠点とする事例は興味深い。遠方の拠点校まで出向くことが大学教員の過度の負担となり、パフォーマンスを下げることにならないよう注意が必要である。学校現場の困難状況においては、研究者も日頃から学校に入り、子どもの生活全体を視野に入れることが必要となるから、大学の地元・近隣の学校との日常的な連携がベースになることが望ましい。

養成の方法として、大学院レベルでは、大学の研究者と現職教員や院生が共に学校現場に入り、教員が包括的な資質能力を展開しているフィールドの中で共同的研究を行うこと、学部レベルでは、学校支援ボランティアなどを指導に組み込み、理論と実践の往還の初歩を体得させることが有効であろう。

したがって、これからの大学には、最新の学問的知見を伝授するだけでなく、保護者や子どもの暮らしまでを視野に入れて現場研究を行うセンターとしての機能が求められることになろう。

(2) ハイブリッド型大学院の提案

現行の教職大学院では、修士論文を課さないこととなっているが、現場研究者として実践を理論化する能力の重要性を考えれば、実践研究に基づくペーパー(研究の質を保った論文や報告書など)作成のトレーニングは必要であり、既存のアカデミック型大学院と教職大学院の長所を統合した、いわばハイブリッド型の大学院教育が有効ではなかろうか。アカデミック型の大学院をその方向に改革していくことも考えられる。

Ⅱ-2 教員免許制度改革の方向性

(1) 修士レベル化を「1年から2年程度」とすることに賛成する

学部4年への追加部分を、一律2年ではなく、「1年から2年程度の修士レベル化」とすることに賛成する。一律2年とすると、教員の待遇改善と連動しなければ、負担に見合わない職種と見なされ、志願者が減る可能性が高い。

(2) 基礎免許状の位置づけについて

基礎免許状については、学士課程修了レベルということで現行の一種免許に相当するが、いま主力をなしている教員層に対応する資格として考えたとき、「審議

のまとめ」の要求水準と位置づけは低くなりすぎていないか。

(3) 上位免許状新設で現場のチームワークを乱さない配慮が必要である

教員の職務においてはチームワークが極めて重要であることを考えれば、現行の主力が基礎免許状相当であるのに対し、さらに一般免許状と専門免許状という二段階にわたる上位免許状を設定することについては、職場の協働関係を乱さぬよう、また児童・生徒へのしわ寄せが生じないよう配慮が必要である。

(4) 実力ある教員が上位免許状を取得しにくい現状を考慮すべきである

現状においても、現場で力量があると認められた教員は各学校で重要な役割を背負い、多忙な状態に置かれており、管理職からは「エース級の教員を大学院に出すわけにはいかない」という声が少なからず聞かれる。すでに教職大学院でも矛盾が生じているが、この状態が解消されないまま専門免許状を制度化すると、最も力量ある教員が免許状では下位にランクされる事態が生じ、学校内の指導関係、モチベーションに問題が生ずることが危惧される。

(5) 上位免許状の認定では大学と連携した現場研修を重視すべきである

その点で「審議のまとめ」でも「校内研修や近隣の学校との合同研修会」を認定するとしていることは重要である。これらや自主的研修に大学の研究者が関与することで現場研究としての質を担保するような制度が有効であろう。

Ⅲ-2 教員養成、採用から初任者の段階の改善方策

(1) ダブルカウントの再検討は不可欠である

教職大学院を拡充するとすれば、「審議のまとめ」にあるようにダブルカウントの在り方についての検討が不可欠である。

(2) 「学習科学」、「教育内容構成」は地域と連携した各大学・大学院で

「学習科学」、「教育内容構成」の研究を含む、学校現場での実践につながる教育学研究は積極的に推進すべき領域である。しかし、理論と実践の往還の担い手として、また現場研究者としての教員が求められているという観点から言えば、それは一部の拠点で行い、その成果を他大学に普及するというトップダウン型の枠組みではなく、各大学・大学院が地域や教育委員会との連携を基盤としてそれぞれに実践的に行う成果を横につなげる枠組みとすべきである。

以上

中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議のまとめ）」に対する意見について

京都府立大学

1 全般に対する意見

- ① 様々な分野において秀でた知識や能力、資質を有する若者を教職に迎え入れるとともに、教職の高度化・専門化に対応するためには、教職課程を教員養成系大学や教職大学院に限定することなく、一般の国公立大学に開かれたものとする、教員養成における「開放制」の原則を貫くことが肝要である。
 - ② 教員採用時においては、教員養成・採用の具体的な実態に即して、「基礎免許状（仮称）」を授与された若者を積極的に採用するとともに、「学び続ける教員像」の確立を促進する上でも教職経験や教育課題を踏まえた継続性のある実践的な現職教育（研修）をいっそう充実させることが肝要である。
 - ③ 教員を高度専門職業人として明確に位置づけるからには、その教育課程は、大学および大学院での学修・研究と不可分に統一されたものでなくてはならない。教職課程の構造および内容については、必修部分をできるかぎり大綱的なものにとどめ、大学ごとに个性的で多様な教職課程を実現するための自由が保障されなければならない。
- ※ なお、「中・高等学校教諭については、その多くが教員養成を主たる目的としない学科等出身者で占められていることに留意する必要がある」（11 頁）の指摘を十分に踏まえること。

2 「教職実践演習」の位置づけについて

「修士レベル化の前提として、学部段階で、教職実践演習を中心に、必要な資質能力の育成を徹底する」（12 頁）とされているが、教職実践演習が設定されている 4 回生後期は、卒業研究に力を集中することが求められる時期にあたる。この時期における教職の「資質育成の徹底」は、教員養成系大学、教育学部等で学んでいる学生の場合以外、専門研究との両立が難しい状況となる。「修士レベル化」が前提とされているということは、専門研究も修士課程を展望したものとして学部の卒業研究よりさらにハイレベルなものが求められているので、この両立はより厳しいものとなることが予想される。

教育実習を終えた養成教育の総仕上げとしての「教職実践演習」の意義は認め

別紙

られるが、これを「中心に……育成を徹底する」という位置づけ（「教職実践演習」に、養成教育の総まとめ以上の比重をもたせること）には、教員養成系大学や教育学部以外では、無理があると思われる。

以上

平成 24 年 6 月 29 日

「審議まとめ」に関する公立大学協会の意見

公立大学協会

会長 奥野武俊（大阪府立大学長）

はじめに

地域の学びの中核を成す公立大学は、これまでも学長の強いリーダーシップのもとで改革を進め、それぞれの地域の要請に応えた教育を展開して来ました。このたび「審議のまとめ」を受けて、さらなる教育改革への覚悟を新たにしています。

今回の大学教育部会の審議に関連したパブリックコメントに対しては、次の3点について、意見を申し上げます。

1 政府の教育支援政策について

大学が改革を進めながら機能別分化に対応し、それぞれの強みと特色を發揮していくためには、政府によるインセンティブを付与した支援策が欠かせないと考えます。

学生の学修成果の把握を基礎とした教育 IR システムの導入、ティーチング・ポートフォリオなどの手法を用いた教育改善等については、公立大学においても試行錯誤しながら実践されています。また、地域をフィールドとした課題解決型能動的学修についても、多くの実践が積み重ねられています。これらは、設置自治体をはじめとする様々なステークホルダーとの間で、教育の在り方に関して厳しい対話を繰り返すことにより生み出されて来たものです。

しかしながら、このような改革を支援してきた政府のいわゆる GP 事業は、成果の十分な検証がないままに予算が縮減されました。現在は設置形態別に大学の組織改革の遅れ等に対応する、ある意味で内向な政策誘導が行われていますが、競争に基づいた効率性の高い支援を進める観点からは適切とは言えません。審議のまとめが求める具体的改革を確実に進めるために、政府は国公立大学を通じた改革支援に改めて取り組むことを強く要望します。

2 教育情報の公表の推進について

審議まとめにおいては「大学ポートレート（仮称）」の早期整備を通して、大学の教育情報の公表を推進することを推奨しています。

本協会では、教育情報公表ガイドラインを策定し、加えて公立大学のポートレート集を毎年作成して公立大学の特色を情報発信してきました。また、独自の公立大学のデータベースを積極的に公表しております。情報公表を習慣化することで、各公立大学は情報を整理・共有し、自らの組織への理解を深めています。

現在、大学ポートレート（仮称）準備委員会において公表すべき情報について議論が行われていますが、認証評価で求められる情報や、マスコミ等から求められる情報も積極的に収集・公表できる、利便性の高いシステムの整備が必要と考えます。

3 認証評価制度について

認証評価に関しては、負担の大きさに比較して改革へのフィードバックが少ないと感じている公立大学が多いことが、本協会の調査で明らかになっています。大学ポートレートにおいて教育情報の公表を徹底すれば、ア krediteーションの多くの部分が代替され、認証評価では大学改革に資する評価に作業を集中できます。

また評価は、評価機関と評価される大学との間での継続的な対話を通して、評価される大学に十分に納得感が得られるものとなって、初めて有効に機能します。今後は、情報公表に支えられた厳密なア krediteーションを担保した上で、評価される大学と評価機関とが十分なコミュニケーションをとりながら展開させる評価の在り方が求められていくものと考えます。

さらに本協会では、公立大学特有の事情（例えば、地域の要請に応じて設置されていること、公立大学法人の場合は設置団体毎に置かれている法人評価委員会の評価を受けること）を踏まえた認証評価の在り方について検討を行っていますが、大学教育部会においても、それらの点について考慮いただけることを希望します。

（以上）

平成 24 年 8 月 29 日

文部科学大臣
平野 博文 様

一般社団法人 公立大学協会
会長 奥野 武俊（大阪府立大学長）

公立大学に関する地方交付税措置についての要望

公立大学は、我が国の高等教育の重要な一翼を担っており、82 校が地域の要請に応じた教育研究活動を推進しています。

しかしながら、公立大学を取り巻く財政事情は極めて厳しいものとなっています。例えば依然として続く世界不況の中、震災以降さらに需要が増している学生への経済的支援に関しても、国立・私立大学は文部科学省からの運営費交付金及び私学助成での支援措置がある一方で、公立大学に対する国からの支援は地方交付税措置による間接支援のみであり、社会状況の急激な変化に支援策が間に合わない事態となっています。

加えて、国の成長戦略や人材育成に関する様々な検討の中で、学生の学修時間の確保や主体的に学ぶ教育環境の整備が強く求められております。これらの事情を考えれば、現在の公立大学に対する単位費用の設定については公立大学が適正な機能を果たすうえで十分なものとは言えません。

また、公立大学は、地域への貢献を主眼とした大学設置、学部改組を継続して行ってきました。例えば、人文社会学系では、近隣する国立大学では未整備となっている学部や分野について、地域の要請に基づいて、少人数教育や国際化対応により充実した教育が実施できるように設置したり、看護系では、地域医療の人材不足対応として、過疎地医療、高齢者医療等に力を入れた大学や学部を設置するなど、公立大学としての使命を果たすように整備されてきたところです。しかし、現状の単位費用における学部別分類については、医学部、歯学部などは細分化されているものの、「文系学部」「理科系学部」など特色となる学部も大括りとされているため、地域への貢献を主眼とした公立大学の特性や実態を反映したものとは必ずしもなっていないところです。

これらの事情についてご理解いただき、平成 25 年度地方財政措置について、以下のとおり要望いたしますので、ご高配のほどよろしくお願い致します。

【要望事項】

- 公立大学の教育機能を支える地方交付税措置において、公立大学の学生 1 人当たりの単位費用を公立大学がその機能を発揮できるよう、適正な額に設定すること。

- 文科系や看護系など公立大学の特性を反映した学部別分類のもとに適切な単位費用の設定が行われるよう、総務省等へ確実に働きかけること。

平成 24 年 8 月 29 日

文部科学大臣
平野 博文 様

一般社団法人公立大学協会
会長 奥野武俊（大阪府立大学長）

「大学改革実行プラン」に関する要望

公立大学はこれまで、学長の強いリーダーシップのもと、地域の要請に応じた教育・研究の充実のために不断の改革を実行してきました。「大学改革実行プラン」について、公立大学の改革をさらに進める立場から、以下の3点を要望いたします。

1 「大学COC(Center of Community)機能の強化」について

地域の切実な要請や地方自治体の強い意志により設置された公立大学は、学内の資源を有効に活用しながら地域と連携した教育研究を展開し、地域社会から高い評価を得ています。今回のCOC構想により、地域における様々な先進事例が積極的に公表、奨励されることは、「地域の知の拠点」としての使命を果たしてきた公立大学として、評価できるものと受け止めています。

本構想の実現に向けた具体策の速やかな提示をお願いすると同時に、施策の実現段階で、公立大学の多様な取り組みに十分にご配慮いただくようお願いいたします。

2 「大学情報の公表の徹底」について

本プランでは「大学ポートレート（仮称）」を早期に整備し、大学情報の公表を徹底するとしています。公立大学協会では教育情報公表ガイドラインの策定のほか、例年「公立大学ポートレート」及び「公立大学データベース」を作成してきました。情報公表を日常的な取り組みとすることで、各公立大学は情報を整理・共有・発信し、社会からの理解を得る努力を進めています。

現在、大学ポートレート（仮称）準備委員会にて公表すべき情報について議論されていますが、この間、関係者の努力で進められて来た情報公表の流れに逆らうことなく、認証評価やマスコミ等から求められる情報も積極的に収集し公表できる、利便性の高いシステムの整備を要望します。

3 「評価制度の抜本改革」について

認証評価に関しては、大学ビジョンにおいても、多様化・簡素化等の抜本改革が提案されています。

評価は、被評価大学に十分に納得感が得られ、評価機関と被評価大学の間で継続的な対話が行われて初めて有効に機能すると考えます。よって今後は、情報公表に

支えられた厳密な法令適合性の担保を行った上で、軽量で活用性の高い評価のあり方が求められていくものと考えています。

加えて公立大学については、認証評価の在り方を考える上で以下のような特有の事情があり、これらを踏まえた評価制度の改革を推進していただくことを望みます。

- (1) 地域の要請に応じ設置され、地域の様々なステークホルダーの理解を得ながら運営されていること。
- (2) 公立大学法人については設置団体ごとの法人評価委員会の評価を受けること。
- (3) 法人評価委員会の評価を受ける際には、「認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」(地方独立行政法人法第 79 条)とされているが、法人評価委員会の評価と認証評価の関係については、整理すべき課題が多いこと。

以上

平成 24 年 8 月 29 日

文部科学大臣
平野 博文 様

一般社団法人公立大学協会
会長 奥野武俊（大阪府立大学長）

大学分科会の構成員に関する要望

この 8 月、中央教育審議会において、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）」が取りまとめられました。引き続き、国公立大学改革に関し、高大接続、大学マネジメント等の重要な課題の審議が大学分科会を中心に進められることを、公立大学としても期待しているところです。

一方、この 4 月より大学分科会に公立大学所属の委員が不在となっており、このままでは公立大学に関する問題提起が必要となったとしても、課題の所在を明らかにすることもできません。さらに、これからの重要な検討事項として、「地域社会の核としての大学の役割」等が挙げられているところであり、地方自治体が自ら設置する公立大学の関係者が大学分科会の審議に加わる重要性は増しています。

つきましては、国公立大学を所管する文部科学省として、同分科会の構成員について、公立大学関係者の委員が参加できるよう特段の配慮をお願いいたします。

平成 24 年 8 月 31 日

総務大臣

川端 達夫様

一般社団法人 公立大学協会

会長 奥野 武俊（大阪府立大学長）

公立大学に関する地方交付税措置についての要望

公立大学は、我が国の高等教育の重要な一翼を担っており、82校が地域の要請に応じた教育研究活動を推進しています。

しかしながら、公立大学を取り巻く財政事情は極めて厳しいものとなっています。例えば依然として続く世界不況の中、震災以降さらに需要が増している学生への経済的支援に関しても、国立・私立大学は文部科学省からの運営費交付金及び私学助成での支援措置がある一方で、公立大学に対する国からの支援は地方交付税措置が唯一の支えとなっています。

国の成長戦略や人材育成に関する様々な検討の中で、学生の学修時間の確保や主体的に学ぶ教育環境の整備が強く求められております。これらの事情を考えれば、現在の公立大学の単位費用の設定については公立大学が適正な機能を果たすうえで十分なものとは言えません。

また、公立大学は、地域への貢献を主眼とした大学設置、学部改組を継続して行ってきました。例えば、人文社会学系では、近隣する国立大学では未整備となっている学部や分野について、地域の要請に基づいて、少人数教育や国際化対応により充実した教育が実施できるように設置したり、看護系では、地域医療の人材不足対応として、過疎地医療、高齢者医療等に力を入れた大学や学部を設置するなど、公立大学としての使命を果たすように整備されてきたところです。しかし、現状の単位費用における学部別分類については、医学部、歯学部などは細分化されているものの、「文系学部」「理科系学部」など特色となる学部も大括りとされているため、地域への貢献を主眼とした公立大学の特性や実態を反映したものとは必ずしもなっていないところです。

これらの事情についてご理解いただき、平成 25 年度予算編成においては、以下のとおり要望いたしますので、ご高配のほどよろしくお願い致します。

【要望事項】

- 公立大学の教育機能を支える地方交付税措置において、公立大学の学生 1 人当たりの単位費用を公立大学がその機能を発揮できるよう、適正な額に設定すること。
- 文科系や看護系など公立大学の特性を反映した学部別分類のもとに適切な単位

費用の設定を行うこと。

平成 24 年 9 月 24 日

第 2 期教育振興基本計画について（審議経過報告）に関する意見

公立大学協会

会長 奥野武俊（大阪府立大学長）

公立大学は地方自治体が設置する大学として、その設置理念に基づき、地域の中核的な知的拠点としての存在感を示してきました。その立場から「審議経過報告」について、公立大学として特に気になる部分に限り、細かな事項も含め意見を述べさせていただきます。

《第 1 部 我が国における今後の教育の全体像》

1 IV 今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき視点 について

- 国・地方公共団体のみならず、学校、保護者、地域住民、企業など社会の構成員すべてが教育の当事者であるとし（P27）、その協力のための環境整備を行うという視点は、地域によって異なる経済、財政、文化等の状況に対応するためにも大切であると考えます。
- 一方、国や地方公共団体の役割については連携・共同等の視点で述べられているものの初等中等教育中心となっており、高等教育については国の役割としての「大学の設置認可、財政支援等」についての記述がありますが、例えば公立大学の設置者行政を担う地方公共団体の役割については、何ら言及されておりません。
- 第 1 期の教育振興基本計画においては、「第 4 章 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項」の中に「地方公共団体に期待される役割」の項が置かれ、市町村、都道府県いずれに関しても大学設置行政について明記されておりました。
- 教育基本法の第 17 条第 2 項において、地方公共団体は、国の計画を参酌し、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めることとなっており、第 2 期の基本計画においても、地方公共団体の重要な施策の一つである公立大学の設置について、具体的な記述を盛り込むことは不可欠と考えます。

《第 2 部 今後 5 年間に実施すべき教育上の方策（案）》

2 第 2 部全体の構成について

- 第 2 部では、第 1 部で示された 4 つの基本的方向性に基づいて、それぞれ 8 つの成果目標にそれぞれ成果指標が示され、目標ごとに合計 29 の基本施策が示されています。
- 高等教育に関する成果目標は、この間の大学分科会での議論を踏まえたものとなっており、公立大学としても既に重く受け止めている内容です。
- 一方、成果指標には、指標として示しやすいものが列挙されることはある程度

避けられないことですが、教育の進む道筋を照らす大きな計画の中に、細かな指標をそのまま書き込むことについてはやや違和感があり、今後丁寧な検討が必要だと考えます。

- さらに、基本施策は、同じく大学分科会の検討内容を踏まえたものですが、今年度から 1～2 年の間に早急に進めていく施策も多く含まれており、今後 5 年（平成 25 年度～平成 29 年度）における施策の内容としては、さらに議論が必要と考えます。「大学改革事項プラン」と教育の将来像を示す「基本計画」との違いを整理していただくことをお願いしたい。

3 公立大学への言及について

- 全体として、国立大学、私立大学への言及に対し、公立大学への言及が欠如している点については、改善を求めたい（例えば P 80、P 97 の現状と課題、P 100、P 101、P 102）。

※ 参考：審議経過報告における用語の出現頻度 「国立大学（法人・附属病院等）」＝30 回、「公立大学」＝1 回、「私立大学」＝21 回、「国公立大学」＝6 回。

- 特に、国立大学の医学部及び附属病院の無い地域において、公立大学が唯一の医学部・附属病院として医療の最後の砦としての役割を果たしている、福島、奈良、和歌山の県立医科大学をはじめとする公立医学部・附属病院の整備についてはしっかりと念頭において議論いただきたい（P 101）。
- なお、「基本施策 25 大学のガバナンスの強化」（P 97）において、ただ一か所「公立大学」への言及がありますが、ここで述べられているガバナンス機能の強化は多くの公立大学で取り組みが進展しつつあり、この記述の中では国としての施策の内容について明らかにされていません。

4 基本施策 20 地域社会の中核となる大学を支援する C O C 構想の推進 について

- 本構想を実現するための国の支援の形は、審議経過報告においては明らかではありませんが、公立大学は従前よりここ（P 87）に示された役割を設置理念に基づいて着実に担ってきており、我々としてはこの構想が審議経過報告において公立大学に対し唯一示された振興策として期待し、さらなる機能強化に向け取り組みを進めたいと考えます。

以上

平成 24 年 10 月 24 日

設置基準への意見

全国公立医科・歯科大学長会

札幌医科大学医学部長 黒木 由夫

福島県立医科大学長 菊地 臣一

横浜市立大学医学部長 横田 俊平

名古屋市立大学大学院医学研究科長

藤井 義敬

京都府立医科大学長 吉川 敏一

大阪市立大学大学院医学研究科長

荒川 哲男

奈良県立医科大学長 吉岡 章

和歌山県立医科大学長 板倉 徹

九州歯科大学長 西原 達次

(意見)

医師不足の対策として、既存の医学部の定員増によって一定期間対応する、という文部科学省が進めてきたこれまでの対応について、公立大学協会医科歯科部会は適切なものと評価し、そのご努力に対して敬意を表するものであります。

今回の改正案に示されている専任教員数、校地・校舎の面積についての基準は、今回の定員増の趣旨を踏まえつつ、医学教育の質を維持するためにも適正なものとして判断いたします。

一方、公立大学の医学部・医科大学では、医学教育の水準を向上させるため、少人数教育の推進、リサーチマインドの育成、診療参加型臨床実習の充実など、さまざまな努力を重ねているところであります。医学教育のクオリティを高めるためには、教育環境の向上は不可欠であります。文部科学省からの関連予算は国・私立大学を対象としており、公立大学の定員増に対してはあくまでも地方財政措置をもって対応するという形となっております。

これらの事情についてご理解いただき、文部科学省として公立大学に対する支援のあり方を見直すと同時に、総務省に対する地方財政措置の確実な措置についての働きかけについても、特段のご配慮をいただきたく、よろしく願いいたします。

平成 24 年 11 月 28 日

公立大学の設置プロセスと質保証の課題について（コメント）

公立大学協会

会長 奥野武俊（大阪府立大学長）

このほど、平成 25 年度の大学設置認可結果の公表の際に文部科学大臣から出された問題提起を受けて、政府は大学設置認可の見直しに関する検討委員会を発足させました。発表された検討委員会メンバーを見ますと公立大学に特有な課題について詳しい委員が不在であると思われるため、公立大学の設置に至る固有のプロセス、大学の質保証をめぐる課題の所在、さらに質保証に重要な役割を果たす評価に関する公立大学協会の取組み等について、その要点を以下に述べます。

1 公立大学の設置プロセス

現在、公立大学は 82 校ありますが、その中の 20 校は設置基準が準則化された平成 15 年以降に新規設置、複数の大学の統合、短大の改組などにより誕生しました。また、学校法人が運営していた私立大学を公立大学法人に設置者変更し、公立大学とした例も 4 校あります。

公立大学の設置は、当然のことながら地方公共団体が行うこととなり、自治体の行政計画や将来計画に従って進められますので、地域社会の強い要請が前提となり、設置準備はこの点から開始されることとなります。したがって、設置すべき当該大学（教育分野）の教育需要が十分あるかどうか、あるいは育成すべき人材像が時代の要請を反映したものであるか、さらに設置後の大学が地域社会の要請に応えるものであるかなどについても、設置準備を進める当事者だけでなく、自治体担当部局で入念に調査されることとなります。また、これらの経過は必ず地方自治体の議会においてその妥当性が審議され、自治体の財政状況については総務省の審査を経る必要があります。これらは公立大学にのみに必要な設置のプロセスとなっています。

つまり、文部科学省だけでなく、様々な機関による厳しい審査を経たうえで設置認可申請をすることになっている訳です。この点は、国立大学や私立大学には無いプロセスであることを指摘しておきます。

2 公立大学の質保証の課題（説明責任・評価・ガバナンス）

公立大学の基本的な機能は、当然のことながら国・私立大学と大きく変わりませんが、特色のひとつは、地域を発展させるために、地方自治体自らが税金を投入して設置する大学であることです。その特色を発揮する方法は、地方自治体の考え方に左右され、大学のあり方や運営状況についても具体的な指摘がなされます。議会や首長は定期的に選挙によって民意の選択を受けるわけですから、公立大学も同じ

ように民意によって常にそのあり方が問われていることとなり、その質保証の課題にもいくつか特徴が挙げられます。

まず説明責任については、公立大学は、「社会に必要とされる存在であることを自ら説明する必要がある」という問題意識を早くから持ってきました。これは、公立大学を対象とした国の補助金が平成 15 年度をもって廃止されており、全面的な経済支援を受けている自治体や、納税者である地域社会に対し、あらゆる機会を捉えて大学の存在意義に関する説明責任を果たす必要があると考えているからです。公立大学が大学の教育情報の公表について積極に取り組み、大学運営の透明性を確保しているのは、このような姿勢によるものです。

次に、“評価”に関しても、特有の仕組みが埋め込まれていることを述べたいと思います。公立大学の評価は、まず設置自治体から受けることになり、議会等において税投入の妥当性や、それにふさわしい地域への貢献があるか等について厳しい評価を受けます。当然のことながら学校教育法に定められている“認証評価”も受けることとなります。加えて、公立大学法人の場合は地方独立行政法人法に基づき、毎事業年度及び 6 年の目標期間に、いわゆる“法人評価”も受けます。公立大学では、教育と大学経営全般について、自治体毎に設置された評価委員会から、それぞれの評価方針によって厳しい評価を受ける仕組みとなっており、公立大学の質保証のために、きわめて真剣に取り組まれています。

もう一点重要な特徴が、大学ガバナンスに存在します。国立大学が全国一斉に法人化したのに対して、公立大学は設置自治体の判断で、それぞれのタイミングで工夫を凝らしながら法人化を進めました。その際には、大学のガバナンスのあり方を含め、独自の大学改革が、学長の強いリーダーシップによって果敢に取り組みされました。その結果、例えば理事長・学長の分離、一法人複数大学など、多様な体制や形態が生まれ、設置自治体との厳しい折衝を経て、大学運営の効率化が行われており、いわば“足腰の強い大学”が実現されつつあると考えています。

3 評価に関する公立大学協会の取組み

最後に、公立大学協会では、大学の機能を充実させ、質を保証するために重要な“認証評価”と“法人評価”について、公立大学という特徴を生かすための仕組みの検討を開始していることに触れます。これは、公立大学が国の高等教育政策の方向性を踏まえながらも、国の予算配分による大学改革の誘導がないために、設置自治体と評価を通じた対話を重ねながら、自ら進む道は自ら定めていく必要があると考えているからです。

近いうちに、我々の検討結果を示し、その評価を生かす具体的な方策について、政府や各評価機関から支援が行われるよう要請したいと考えています。

(以上)

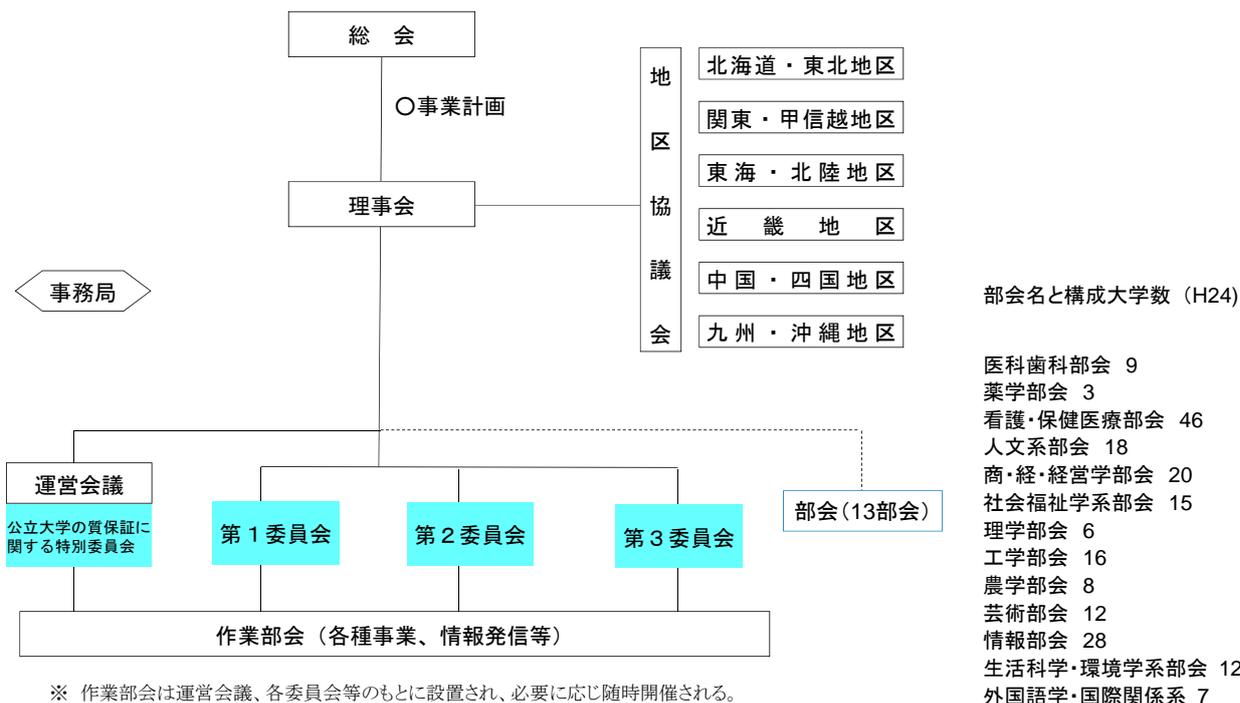
1 2 名簿等

(1) 平成 24 年度公立大学一覧

No	大学名	〒	住所	代表番号	学長氏名
1*	札幌医科大学	060-8556	北海道札幌市中央区南 1 条西 17 丁目	011-611-2111	島本 和明
2	釧路公立大学	085-8585	北海道釧路市芦野 4 丁目 1 番 1 号	0154-37-3211	高野 敏行
3*	公立ほこだて未来大学	041-8655	北海道函館市亀田中野町 116 番地 2	0138-34-6448	中島 秀之
4	名寄市立大学	096-8641	北海道名寄市西 4 条北 8 丁目 1	01654-2-4194	青木 紀
5*	札幌市立大学	005-0864	北海道札幌市南区芸術の森 1 丁目	011-592-2300	蓮見 孝
6*	青森県立保健大学	030-8505	青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1	017-765-2000	リボウィッツよし子
7*	青森公立大学	030-0196	青森県青森市合子沢字山崎 153 番地 4	017-764-1555	香取 薫
8*	岩手県立大学	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子 152-52	019-694-2000	中村 慶久
9*	宮城大学	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1	022-377-8205	西垣 克
10*	秋田県立大学	010-0195	秋田県秋田市下新城中野字街道端西 241-438	018-872-1500	小間 篤
11*	国際教養大学	010-1292	秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱 193-2	018-886-5900	中嶋 嶺雄
12*	山形県立保健医療大学	990-2212	山形県山形市上柳 260 番地	023-686-6611	青柳 優
13*	福島県立医科大学	960-1295	福島県福島市光が丘 1 番地	024-547-1111	菊地 臣一
14*	会津大学	965-8580	福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90	0242-37-2500	角山 茂章
15	茨城県立医療大学	300-0394	茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2	029-888-4000	工藤 典雄
16	群馬県立女子大学	370-1193	群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1	0270-65-8511	濱口 富士雄
17	群馬県立県民健康科学大学	371-0052	群馬県前橋市上沖町 323-1	027-235-1211	土井 邦雄
18*	高崎経済大学	370-0801	群馬県高崎市上並榎町 1300	027-343-5417	石川 弘道
19	前橋工科大学	371-0816	群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1	027-265-0111	辻 幸和
20*	埼玉県立大学	343-8540	埼玉県越谷市三野宮 820 番地	048-971-0500	三浦 宜彦
21	千葉県立保健医療大学	261-0014	千葉県千葉市美浜区若葉 2 丁目 10 番地 1 号	043-296-2000	山浦 晶
22*	首都大学東京	192-0397	東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番	042-677-1111	原島 文雄
23*	産業技術大学院大学	140-0011	東京都品川区東大井 1-10-40	03-3472-7831	石島 辰太郎
24	神奈川県立保健福祉大学	238-8522	神奈川県横須賀市平成町 1-10-1	046-828-2500	中村 丁次
25*	横浜国立大学	236-0027	神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2	045-787-2311	布施 勉
26	新潟県立看護大学	943-0147	新潟県上越市新南町 240 番地	025-526-2811	渡邊 隆
27*	新潟県立大学	950-8680	新潟県新潟市東区海老ヶ瀬 471	025-270-1300	猪口 孝
28*	山梨県立大学	400-0035	山梨県甲府市飯田 5 丁目 11 番 1 号	055-224-5261	伊藤 洋
29*	都留文科大学	402-8555	山梨県都留市田原 3 丁目 8 番 1 号	0554-43-4341	加藤 祐三
30	長野県看護大学	399-4117	長野県駒ヶ根市赤穂 1694 番地	0265-81-5100	阿保 順子
31	富山県立大学	939-0398	富山県射水市黒河 5180 番地	0766-56-7500	前澤 邦彦
32*	石川県立看護大学	929-1210	石川県かほく市学園台 1 丁目 1 番地	076-281-8300	石垣 和子
33*	石川県立大学	921-8836	石川県野々市市末松 1 丁目 308 番地	076-227-7220	松野 隆一
34*	金沢美術工芸大学	920-8656	石川県金沢市小立野 5 丁目 11 番 1 号	076-262-3531	久世 建二
35*	福井県立大学	910-1195	福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1	0776-61-6000	下谷 政弘
36*	岐阜県立看護大学	501-6295	岐阜県羽島市江吉良町 3047-1	058-397-2300	小西 美智子
37	情報科学芸術大学院大学	503-0014	岐阜県大垣市領家町 3 丁目 95 番地	0584-75-6600	関口 敦仁
38	岐阜薬科大学	501-1196	岐阜県岐阜市大学西 1-25-4	058-230-8100	勝野 眞吾
39*	静岡県立大学	422-8526	静岡県静岡市駿河区谷田 52 番 1 号	054-264-5102	木苗 直秀
40*	静岡文化芸術大学	430-8533	静岡県浜松市中区中央 2 丁目 1 番 1 号	053-457-6111	熊倉 功夫
41*	愛知県立大学	480-1198	愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3	0561-64-1111	高島 忠義
42*	愛知県立芸術大学	480-1194	愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114	0561-62-1180	磯見 輝夫
43*	名古屋市立大学	467-8601	愛知県名古屋市長瑞穂区瑞穂町字川澄 1	052-853-8005	戸苅 創
44*	三重県立看護大学	514-0116	三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地の 1	059-233-5600	村本 淳子
45*	滋賀県立大学	522-8533	滋賀県彦根市八坂町 2500	0749-28-8200	大田 啓一
46*	京都府立大学	606-8522	京都府京都市左京区下鴨半木町 1-5	075-703-5101	渡辺 信一郎
47*	京都府立医科大学	602-8566	京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465	075-251-5111	吉川 敏一
48*	京都市立芸術大学	610-1197	京都府京都市西京区大枝沓掛町 13-6	075-334-2200	建昌 哲
49*	大阪府立大学	599-8531	大阪府堺市中区学園町 1 番 1 号	072-252-1161	奥野 武俊
50*	大阪市立大学	558-8585	大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138	06-6605-2011	西澤 良記
51	兵庫県立大学	651-2197	兵庫県神戸市西区学園西町 8 丁目 2-1	078-794-6580	清原 正義
52*	神戸市外国語大学	651-2187	兵庫県神戸市西区学園東町 9 丁目 1	078-794-8121	船山 伸他
53	神戸市看護大学	651-2103	兵庫県神戸市西区学園西町 3 丁目 4 番地	078-794-8080	金川 克子

54*	奈良県立医科大学	634-8521	奈良県橿原市四条町 840 番地	0744-22-3051	吉岡 章
55	奈良県立大学	630-8258	奈良県奈良市船橋町 10 番地	0742-22-4978	伊藤 忠通
56*	和歌山県立医科大学	641-8509	和歌山県和歌山市紀三井寺 811 番地 1	073-447-2300	板倉 徹
57*	鳥取環境大学	689-1111	鳥取県鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号	0857-38-6700	古澤 巖
58*	島根県立大学	697-0016	島根県浜田市野原町 2433-2	0855-24-2200	本田 雄一
59*	岡山県立大学	719-1197	岡山県総社市窪木 111	0866-94-2111	三宮 信夫
60*	新見公立大学	718-8585	岡山県新見市西方 1263 番地 2	0867-72-0634	難波 正義
61*	県立広島大学	734-8558	広島県広島市南区宇品東 1 丁目 1 番 71 号	082-251-5178	赤岡 功
62*	広島市立大学	731-3194	広島県広島市安佐南区大塚東 3 丁目 4 番 1 号	082-830-1500	浅田 尚紀
63*	尾道市立大学	722-8506	広島県尾道市久山田町 1600 番地 2	0848-22-8311	足立 英之
64	福山市立大学	721-0964	広島県福山市港町二丁目 19 番 1 号	084-999-1111	稲垣 卓
65*	山口県立大学	753-8502	山口県山口市桜島 3 丁目 2-1	083-928-0211	江里 健輔
66*	下関市立大学	751-8510	山口県下関市大学町 2 丁目 1 番 1 号	083-252-0288	荻野 喜弘
67	香川県立保健医療大学	761-0123	香川県高松市牟礼町原 281 番地 1	087-870-1212	湯淺 繁一
68*	愛媛県立医療技術大学	791-2101	愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543 番地	089-958-2111	井出 利憲
69*	高知県立大学	781-8515	高知県高知市池 2751 番地 1	088-847-8700	南 裕子
70*	高知工科大学	782-8502	高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185 番地	0887-53-1111	佐久間 健人
71*	九州歯科大学	803-8580	福岡県北九州市小倉北区真鶴 2 丁目 6 番 1 号	093-582-1131	西原 達次
72*	福岡女子大学	813-8529	福岡県福岡市東区香ヶ丘 1 丁目 1 番 1 号	092-661-2411	梶山 千里
73*	福岡県立大学	825-8585	福岡県田川市伊田 4395 番地	0947-42-2118	柴田 洋三郎
74*	北九州市立大学	802-8577	福岡県北九州市小倉南区北方 4 丁目 2-1	093-964-4004	近藤 倫明
75*	長崎県立大学	858-8580	長崎県佐世保市川下町 123	0956-47-2191	太田 博道
76*	熊本県立大学	862-8502	熊本県熊本市東区月出 3 丁目 1 番 100 号	096-383-2929	古賀 実
77*	大分県立看護科学大学	870-1201	大分県大分市栖野 2944 番地 9	097-586-4300	村嶋 幸代
78	宮崎県立看護大学	880-0929	宮崎県宮崎市まなび野 3 丁目 5 番地 1	0985-59-7700	瀬口 千ホ
79*	宮崎公立大学	880-8520	宮崎県宮崎市船塚 1 丁目 1 番地 2	0985-20-2000	井上 雄二
80	沖縄県立芸術大学	903-8602	沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地	098-882-5000	佐久本 嗣男
81	沖縄県立看護大学	902-0076	沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号	098-833-8800	前田 和子
82*	名桜大学	905-8585	沖縄県名護市字為又 1220 番地の 1	0980-51-1100	瀬名波 榮喜

(2) 平成 24 年度組織図



(3) 平成 24 年度役員名簿

役職名	所属・職名	氏名	備考
会長	大阪府立大学長	奥野 武俊	
副会長	静岡県立大学長	木苗 直秀	第 2 委員会
〃	広島市立大学長	浅田 尚紀	第 3 委員会
〃	北九州市立大学長	近藤 倫明	第 1 委員会
地区選出理事			
(北海道・東北)	岩手県立大学長	中村 慶久	第 3 委員会
(関東・甲信越)	山梨県立大学長	伊藤 洋	第 2 委員会
(東海・北陸)	金沢美術工芸大学長	久世 建二	第 3 委員会
(近畿)	和歌山県立医科大学長	板倉 徹	第 3 委員会
(中国・四国)	高知工科大学長	佐久間 健人	第 1 委員会
(九州・沖縄)	長崎県立大学長	太田 博道	第 3 委員会
指名理事	青森県立保健大学長	リボウィッツ よし子	第 2 委員会
〃	首都大学東京学長	原島 文雄	第 1 委員会
〃	大阪市立大学長	西澤 良記	第 1 委員会
監事	名古屋市立大学長	戸苅 創	第 1 委員会
〃	秋田県立大学長	小間 篤	第 1 委員会
顧問	都留文科大学長	加藤 祐三	第 3 委員会
〃	横浜市立大学長	布施 勉	第 1 委員会
〃	山口県立大学長	江里 健輔	第 3 委員会
相談役	元 愛知県立大学長	森 正夫	第 3 委員会
〃	前 北九州市立大学長	矢田 俊文	第 3 委員会
〃	前 秋田県立大学長	小林 俊一	第 2 委員会
〃	前 愛知県立大学長	佐々木 雄太	第 1 委員会
事務局長	公立大学協会	中田 晃	

(4) 平成 24 年度委員会名簿

公立大学の質保証に関する特別委員会

役職名	所属・職名	氏名	備考
会長	大阪府立大学長	奥野 武俊	会長
副会長	静岡県立大学長	木苗 直秀	副会長
〃	広島市立大学長	浅田 尚紀	副会長
〃	北九州市立大学長	近藤 倫明	副会長
〃	兵庫県立大学長	清原 正義	第 2 委員会委員
事務局長	公立大学協会	中田 晃	事務局長

第 1 委員会

役職名	所属・職名	氏名
委員長	北九州市立大学長	近藤倫明
委員	札幌医科大学長	島本和明
〃	秋田県立大学長	小間 篤
〃	首都大学東京学長	原島文雄
〃	横浜市立大学長	布施 勉
〃	名古屋市立大学長	戸苅 創
〃	大阪市立大学長	西澤良記
〃	高知工科大学長	佐久間健人

〃	相談役／前愛知県立大学長	佐々木雄太
---	--------------	-------

第2委員会

役職名	所属・職名	氏名
委員長	静岡県立大学長	木苗直秀
委員	公立はこだて未来大学長	中島秀之
〃	青森県立保健大学長	リボウイツツよし子
〃	山梨県立大学長	伊藤 洋
〃	兵庫県立大学長	清原正義
〃	島根県立大学長	本田雄一
〃	熊本県立大学長	古賀 実
〃	相談役／前秋田県立大学長	小林俊一

第3委員会

役職名	所属・職名	氏名
委員長	広島市立大学長	浅田尚紀
委員	岩手県立大学長	中村慶久
〃	都留文科大学長	加藤祐三
〃	金沢美術工芸大学長	久世建二
〃	和歌山県立医科大学長	板倉 徹
〃	山口県立大学長	江里健輔
〃	長崎県立大学長	太田博道
〃	相談役／元愛知県立大学長	森 正夫
〃	相談役／前北九州市立大学長	矢田俊文

(5) 平成24年度部会構成大学一覧 (H24.4.1現在)

太字は平成24年度部会長校
 ※は平成25年度部会長予定校

● 医科歯科部会

No	大学名
1	札幌医科大学
2	福島県立医科大学
3	横浜市立大学※
4	名古屋市立大学
5	京都府立医科大学
6	大阪市立大学
7	奈良県立医科大学
8	和歌山県立医科大学
9	九州歯科大学

● 薬学部会

No	大学名
1	岐阜薬科大学
2	静岡県立大学※
3	名古屋市立大学

● 看護・保健医療部会

No	大学名
1	札幌医科大学
2	名寄市立大学
3	札幌市立大学
4	青森県立保健大学
5	岩手県立大学
6	宮城大学
7	山形県立保健医療大学
8	福島県立医科大学
9	茨城県立医療大学
10	群馬県立県民健康科学大学
11	埼玉県立大学
12	千葉県立保健医療大学
13	首都大学東京
14	神奈川県立保健福祉大学
15	横浜市立大学
16	新潟県立看護大学
17	石川県立看護大学
18	福井県立大学
19	山梨県立大学
20	長野県看護大学
21	岐阜県立看護大学
22	静岡県立大学
23	愛知県立大学

24	名古屋市立大学
25	三重県立看護大学
26	滋賀県立大学
27	京都府立医科大学
28	大阪府立大学
29	大阪市立大学
30	兵庫県立大学
31	神戸市看護大学
32	奈良県立医科大学
33	和歌山県立医科大学
34	岡山県立大学
35	新見公立大学
36	県立広島大学
37	山口県立大学
38	香川県立保健医療大学
39	愛媛県立医療技術大学
40	高知県立大学※
41	福岡県立大学
42	大分県立看護科学大学
43	長崎県立大学
44	宮崎県立看護大学
45	沖縄県立看護大学
46	名桜大学

● 人文系部会

No	大学名
1	群馬県立女子大学
2	首都大学東京
3	横浜市立大学
4	都留文科大学
5	愛知県立大学
6	名古屋市立大学
7	滋賀県立大学
8	京都府立大学
9	大阪市立大学
10	大阪府立大学※
11	県立広島大学
12	広島市立大学
13	山口県立大学
14	高知県立大学
15	北九州市立大学
16	福岡女子大学
17	熊本県立大学

18	宮崎公立大学
ワザ-バ	秋田県立大学

● 商・経・経営学部会

No	大学名
1	釧路公立大学
2	青森公立大学
3	岩手県立大学
4	宮城大学
5	高崎経済大学
6	首都大学東京
7	横浜市立大学
8	山梨県立大学
9	福井県立大学
10	静岡県立大学
11	名古屋市立大学
12	大阪府立大学
13	大阪市立大学
14	兵庫県立大学
15	奈良県立大学
16	県立広島大学※
17	尾道市立大学
18	下関市立大学
19	北九州市立大学
20	長崎県立大学

● 社会福祉学系部会

No	大 学 名
1	名 寄 市 立 大 学
2	青 森 県 立 保 健 大 学
3	岩 手 県 立 大 学 ※
4	埼 玉 県 立 大 学
5	山 梨 県 立 大 学
6	神 奈 川 県 立 保 健 福 祉 大 学
7	福 井 県 立 大 学
8	愛 知 県 立 大 学
9	京 都 府 立 大 学
10	大 阪 市 立 大 学
11	大 阪 府 立 大 学
12	岡 山 県 立 大 学
13	山 口 県 立 大 学
14	高 知 県 立 大 学
15	福 岡 県 立 大 学

● 理学部会

No	大 学 名
1	首 都 大 学 東 京
2	横 浜 市 立 大 学
3	大 阪 府 立 大 学 ※
4	大 阪 市 立 大 学
5	兵 庫 県 立 大 学
6	滋 賀 県 立 大 学
オプターバ	会 津 大 学

● 工学部会

No	大 学 名
1	公立はこだて未来大学
2	秋 田 県 立 大 学
3	会 津 大 学
4	前 橋 工 科 大 学
5	首 都 大 学 東 京
6	産 業 技 術 大 学 院 大 学
7	富 山 県 立 大 学
8	名 古 屋 市 立 大 学
9	滋 賀 県 立 大 学
10	大 阪 市 立 大 学
11	大 阪 府 立 大 学
12	兵 庫 県 立 大 学
13	岡 山 県 立 大 学
14	広 島 市 立 大 学
15	高 知 工 科 大 学 ※
16	北 九 州 市 立 大 学

● 農学部会

No	大 学 名
1	宮 城 大 学
2	秋 田 県 立 大 学
3	石 川 県 立 大 学
4	福 井 県 立 大 学
5	滋 賀 県 立 大 学
6	京 都 府 立 大 学
7	大 阪 府 立 大 学 ※
8	県 立 広 島 大 学

● 芸術部会

No	大 学 名
1	札 幌 市 立 大 学
2	公立はこだて未来大学
3	金 沢 美 術 工 芸 大 学
4	情 報 科 学 芸 術 大 学 院 大 学 ※
5	静 岡 文 化 芸 術 大 学
6	愛 知 県 立 芸 術 大 学
7	名 古 屋 市 立 大 学
8	京 都 市 立 芸 術 大 学
9	岡 山 県 立 大 学
10	広 島 市 立 大 学
11	尾 道 市 立 大 学
12	沖 縄 県 立 芸 術 大 学

● 情報部会

No	大 学 名
1	釧 路 公 立 大 学
2	公立はこだて未来大学
3	岩 手 県 立 大 学
4	宮 城 大 学
5	秋 田 県 立 大 学
6	会 津 大 学
7	前 橋 工 科 大 学
8	首 都 大 学 東 京
9	横 浜 市 立 大 学
10	福 井 県 立 大 学
11	都 留 文 科 大 学
12	情 報 科 学 芸 術 大 学 院 大 学 ※
13	静 岡 県 立 大 学
14	愛 知 県 立 大 学
15	名 古 屋 市 立 大 学
16	滋 賀 県 立 大 学
17	京 都 府 立 大 学

18	大 阪 市 立 大 学
19	岡 山 県 立 大 学
20	県 立 広 島 大 学
21	広 島 市 立 大 学
22	山 口 県 立 大 学
23	高 知 県 立 大 学
24	九 州 歯 科 大 学
25	福 岡 県 立 大 学
26	長 崎 県 立 大 学
27	熊 本 県 立 大 学
28	宮 崎 公 立 大 学

● 生活科学・環境学系部会

No	大 学 名
1	秋 田 県 立 大 学
2	滋 賀 県 立 大 学 ※
3	京 都 府 立 大 学
4	大 阪 市 立 大 学
5	兵 庫 県 立 大 学
6	岡 山 県 立 大 学
7	県 立 広 島 大 学
8	山 口 県 立 大 学
9	高 知 県 立 大 学
10	福 岡 女 子 大 学
11	長 崎 県 立 大 学
12	熊 本 県 立 大 学

● 外国語学・国際関係系部会

No	大 学 名
1	群 馬 県 立 女 子 大 学
2	静 岡 県 立 大 学 ※
3	愛 知 県 立 大 学
4	神 戸 市 外 国 語 大 学
5	山 口 県 立 大 学
6	北 九 州 市 立 大 学
7	長 崎 県 立 大 学

13 政府審議会等への参画

平成24年度中に就任した委員（事務局調）

文部科学省

○中央教育審議会高大接続特別部会臨時委員

近藤倫明（北九州市立大学長）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会委員

浅田尚紀（広島市立大学長）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会特別委員

村本淳子（三重県立看護大学長）

近藤倫明（北九州市立大学長）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会設置計画履行状況等調査委員会委員

浅田尚紀（広島市立大学長）

村本淳子（三重県立看護大学長）

遠藤英樹（奈良県立大学教授）

嘉手苺英子（沖縄県立看護大学教授）

高見沢恵美子（大阪府立大学教授）

長澤弘（神奈川県立健康福祉大学大学院教授）

松田たみ子（茨城県立医療大学教授）

美馬のゆり（公立はこだて未来大学教授）

○大学設置・学校法人審議会大学設置分科会専門委員

杉本優（群馬県立女子大学教授）

富永英夫（兵庫県立大学教授）

丸山裕美子（愛知県立大学教授）

村田京子（大阪府立大学教授）

秋川陽一（福山市立大学教授）

須藤廣（北九州市立大学教授）

加藤直（首都大学東京教授）

三好一郎（名古屋市立大学大学院教授）

杉浦真弓（名古屋市立大学教授）

中山勉（静岡県立大学教授）

田中信行（金沢美術工芸大学教授）

戸山俊樹（愛知県立芸術大学教授）

久留智之（愛知県立芸術大学教授）

水野みか子（名古屋市立大学大学院教授）

石井邦子（千葉県立保健医療大学教授）

大塚真理子（埼玉県立大学教授）

大平光子（山形県立保健医療大学教授）

北山三津子（岐阜県立看護大学教授）

佐藤まゆみ（千葉県立保健医療大学教授）

鈴木幸子（埼玉県立大学教授）

竹下達也（和歌山県立医科大学教授）

田中京子（大阪府立大学教授）

近澤範子（兵庫県立大学大学院教授）

二宮啓子（神戸市看護大学大学院教授）

樋之津淳子（札幌市立大学大学院教授）

柳澤理子（愛知県立大学教授）

山岸仁美（宮崎県立看護大学教授）

岡本誠（公立はこだて未来大学学科長）

串山久美子（首都大学東京教授）

○中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会専門委員

木村光江（首都大学東京大学院教授）

○大学入学者選抜方法の改善に関する協議の協力者

木苗直秀（静岡県立大学長）

小田切陽一（山梨県立大学大学院教授）

○就職問題懇談会

木苗直秀（静岡県立大学長）

伊藤洋（山梨県立大学長）

○新卒者等の就職採用活動に関する懇談会委員

伊藤洋（山梨県立大学長）

○（独）日本学生支援機構の在り方の検討に関する有識者会議

富沢壽勇（静岡県立大学副学長）

○大学間連携共同教育推進事業委員

近藤倫明（北九州市立大学長）

○教育関係共同利用拠点制度運営委員会委員

龍有二（北九州市立大学国際環境工学部学部長）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会臨時委員

笠井治（首都大学東京法科大学院教授）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会委員

奥野武俊（大阪府立大学長）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会業務及び財務等審議専門部会委員

奥野武俊（大阪府立大学長）

○国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会業務及び財務等審議専門部会臨時委員

笠井治（首都大学東京法科大学院教授）

○教科用図書検定調査審議会委員

濱口富士雄（群馬県立女子大学長）

前田研一（首都大学東京大学院教授）

○教科用図書検定調査審議会臨時委員

河原加代子（首都大学東京教授）

○教科用図書検定調査審議会専門委員

鈴木聖子（岩手県立大学教授）

田中芳文（島根県立大学教授）

塚田健一（広島市立大学教授）

鳥原正敏（都留文科大学教授）

増田聡（大阪市立大学大学院准教授）

○科学技術・学術審議会第六期国際委員会

西澤直子（石川県立大学生物資源工学研究所教授）

内閣府

○男女共同参画推進連携会議議員

木苗直秀（静岡県立大学長）

大学入試センター

○運営審議会委員

奥野武俊（大阪府立大学長）

木苗直秀（静岡県立大学長）

○試験協議会構成員

奥野武俊（大阪府立大学長）

木苗直秀（静岡県立大学長）

○得点調整判定委員

奥野武俊（大阪府立大学長）

木苗直秀（静岡県立大学長）

○試験企画委員会委員

新免輝男（兵庫県立大学副学長）

出川雅邦（静岡県立大学教授）

○実施方法委員会委員

出川雅邦（静岡県立大学教授）

○「全国大学入学者選抜研究協議会」企画委員会委員

木苗直秀（静岡県立大学長）

小田切陽一（山梨県立大学大学院教授）

中島範行（富山県立大学教授）

大久保敦（大阪市立大学大学教育研究センター教授）

日本学術振興会

○大学教育等推進事業委員会委員

大宮登（高崎経済大学副学長）
吉川洋子（島根県立大学看護学部長）

○大学教育等推進事業委員会調査部会委員

大宮登（高崎経済大学副学長）
土屋正春（滋賀県立大学特任教授）
宮浦国江（愛知県立大学学生支援センター長）
吉川洋子（島根県立大学看護学部長）

○大学の世界展開力強化事業プログラム委員会審査部会委員

岡本隆司（京都府立大学准教授）
佐藤英行（首都大学東京大学院教授）

○博士課程教育リーディングプログラム委員会委員

猪口孝（新潟県立大学長）

○グローバル人材育成推進事業プログラム委員会審査部会委員

伊藤伸哉（富山県立大学教授）
熊谷嘉隆（国際教養大学教授）
松浦克美（首都大学東京大学院教授）

○博士課程教育リーディングプログラム委員会類型別審査・評価第一部会【オールラウンド型】委員

奥村次徳（首都大学東京副学長）

○博士課程教育リーディングプログラム委員会類型別審査・評価第二部会【複合領域型（環境）】委員

井上晴夫（首都大学東京教授）

大学評価・学位授与機構

○大学機関別認証評価委員会委員

稲垣卓（福山市立大学長）
金川克子（神戸市看護大学長）
小間篤（秋田県立大学長）

○国立大学教育研究評価委員会委員

梶山千里（福岡女子大学長）
中島秀之（公立ほこだて未来大学長）
野嶋佐由美（高知県立大学副学長）

○法科大学院認証評価委員会委員

木村光江（首都大学東京教授）

○評議員

奥野武俊（大阪府立大学長）

○運営委員会委員

難波正義（新見公立大学長）

○大学機関別認証評価委員会専門委員

近藤倫明（北九州市立大学長）
野並葉子（兵庫県立大学教授）
藤田佐和（高知県立大学教授）

大学基準協会

○役員

勝野眞吾（岐阜薬科大学長）
近藤倫明（北九州市立大学長）
原島文雄（首都大学東京学長）

○評議員

浅田尚紀（広島市立大学長）
香取薫（青森公立大学長）
木苗直秀（静岡県立大学長）
高野敏行（釧路公立大学長）
戸苺創（名古屋市立大学長）
中村慶久（岩手県立大学長）

○評議員選定委員会委員

浅田尚紀（広島市立大学長）

○基準委員会委員

石川雄一（長崎県立大学教授）
大橋隆哉（首都大学東京教授）
佐々木民夫（岩手県立大学副学長）
鈴木孝夫（青森県立保健大学教授）
福田誠治（都留文科大学教授）

○大学評価委員会委員

井出利憲（愛媛県立医療技術大学長）
大橋隆哉（首都大学東京教授）
坂本明雄（高知工科大学教授）

○法科大学院認証評価委員会委員

阿部昌樹（大阪市立大学教授）

○経営系専門職大学院認証評価委員会委員

森本博行（首都大学東京教授）

○公共政策系専門職大学院認証評価委員会委員

窪田好男（京都府立大学准教授）

○正会員資格判定委員会委員

漆原朗子（北九州市立大学教授）

○大学評価企画立案委員会委員

郡健二郎（名古屋市立大学教授）

○公衆衛生系専門職大学院異議申立審査会委員

勝野眞吾（岐阜薬科大学長）

○広報委員会委員

亀澤美由紀（首都大学東京准教授）

日本学生支援機構

○日本留学試験実施委員会委員

小林浩明（北九州市立大学国際交流センター准教授）

○私費留学生学習奨励費給付制度成果検証委員

寺迫正廣（大阪府立大学副学長）

その他

○留学生支援企業協力推進協会理事

奥野武俊（大阪府立大学長）

○UMAP 国内委員会

中嶋嶺雄（国際教養大学長）
角山茂章（会津大学長）
岡田公夫（横浜市立大学学部長）
垣本和宏（大阪府立大学大学院教授）（専門委員）
山崎勇治（北九州市立大学教授）（専門委員）

○国公立大学団体国際交流担当委員長協議会（JACUIE）

布施勉（横浜市立大学長）
原島文雄（首都大学東京学長）

○日中大学フォーラム実行委員会委員

奥野武俊（大阪府立大学長）

※（ ）内は委嘱当時の役職